

授業内容概略

Class Summaries

時間表、詳細、最新版は UTAS 及び公共政策大学院の Web サイトで確認すること。

Make sure to check class schedules, details, and updated versions via UTAS and in GraSPP Website.

Reference : <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/courses/>

基 幹 科 目

Basic Courses

Course Code	5111010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	民事法の基層と現代的課題				
Faculties	石川 博康				
Course Objectives/Overview	<p>法の生成・展開過程や法を支える社会の構造等を踏まえた基礎的考察を通じて法の基層に降り立つことは、民事法における諸制度を設計し、またそれを解釈・運用するに際しての欠くべからざる諸前提のうちの一つである。本講義では、既存の法制度を評価し、また新たに法制度を構想する際に必要な、民事法の基本的な考え方および概念について講義する。法学未習者と、学部で民事法を一通り勉強した学生で民事法を支える理論的諸基盤についてより広い視野からもう一度理解し直そうと考えている者とを、対象とする。</p> <p>本年度は、民事法の諸制度を支えている歴史的基盤に着目し、現代法に関し法史学の観点からの一定の見通しを得ることを目的とした検討を行う。</p>				

Course Code	5111020	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公法の基層と現代的課題				
Faculties	小島 慎司／横田 明美				
Course Objectives/Overview	<p>法学未修者のみならず、学部で公法を一通り勉強した学生であっても、公法の全体を広い視野からもう一度理解し直したい者をも歓迎する。前半は小島（憲法）が担当する。既存の法制度を評価し、また新たに法制度を構想する際に必要な、憲法学の基本的な考え方および概念を講義する。重点的にテーマをしぼり、また現実の具体的な諸問題を素材にして、講義を進める。後半は横田（行政法）が担当する。公共政策の良き担い手や発案者となることができるよう、「行政を動かし、コントロールして政策を実現するための法」としての行政法を概観する。とりわけ、法執行過程の全体を手続として捉えることができるようになることを目標とする。</p>				

Course Code	5111040	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	行政組織法				
Faculties	太田 匡彦				
Course Objectives/Overview	<p>行政組織を構成し、相互関係を規律する法に関わる諸問題を検討する。法治国原理と民主政原理に則った行政活動がなされるための基礎を構築すべき法分野であると共に、権利義務関係・裁判所による権利救済（司法統制）という、現在の法理解では法に当然に付随するものとも理解される要素が当然には作動しない分野でもあり、法の捉え方について省察を求められる分野でもある。これらの点に留意しながら、考察を行いたいと考えている。</p>				

Course Code	5111050	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	財政法				
Faculties	藤谷 武史				
Course Objectives/Overview	<p>財政法は、文字通り「財政」を規律する法規範の体系であるが、その前提となるのが、「財政＝国家の経済的・金融的活動」を法的にいかにかに把握するか、という問いである。本講義では、公法的側面のみならず、私法的側面・金融的側面・国際的側面から複合的に「財政の法的把握」を試みる。すなわち、財政をそれ単体として捉えるのではなく、現代の実物経済および金融経済（特に金融市場と財政の密接な関係）との関わり、およびグローバル化する現代の統治と法の関係における財政の位置づけ、等を視野に収めつつ、そこに作用する法的構造・関係を考察する。これらの作業を通じて、「他法分野と密接に関連した法分野としての財政法」像を新たに提示することが本講義の目的である。</p>				

Course Code	5111060	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地方自治法				
Faculties	山本 隆司				
Course Objectives/Overview	<p>地方公共団体の組織および諸活動を根拠づけ、規律する法理と法制度の概要を把握し、公法の理解を深める。</p>				

Course Code	5111070	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地方財政・租税論				
Faculties	増井 良啓				
Course Objectives/Overview	<p>デジタル化の進む近未来をみすえて、技術革新が私たちの社会や法にどのようなインパクトを与えるかをじっくり議論します。表題の「AIと税制」は、このような大きな動きを象徴する典型例です。このゼミでは、これにとどまらず、GoogleやAmazonの国際的タックス・プランニングや、Bitcoinで話題を呼んだ仮想通貨の課税取扱い、IPボックスをはじめとする研究開発税制の世界的動向、FinTechで変わる金融・会計と税制の関係、徴税プロセスの電子化やビッグデータの活用、シェアリング・エコノミーの課税問題、BEPS行動1で積み残されたデジタル経済の課税、AI活用が進む中での専門職の今後のあり方、デジタル・デバイドへの対応といったような問題を、参加者の希望に応じて幅広くとりあげ、内外の文献を読み進めていきます。</p>				

Course Code	5111080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	租税政策				
Faculties	中里 実／米田 隆				
Course Objectives/Overview	企業活動に関連する法務と税務の関係につき具体例をもとに検討を加える。				

Course Code	5111090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	立法学				
Faculties	高森 雅樹				
Course Objectives/Overview	<p>近年、「立法」に関する関心がとみに高まっている。しかし、法律を学ぶ学生の多くにとって、立法過程の実態は、依然として、未知の世界にとどまっているようである。</p> <p>そこで、本講義では、担当者の現職国会職員としての実務経験を背景に、立法過程の実態について、主に実務的な観点から概観することとしたい。具体的には、①「序論」として我が国の立法の特徴や量的・質的変遷を論じた後、②「立法過程論」として法律案の立案過程及び国会における審議過程、③「法制執務論」として立法政策の内容の検討（法制度設計）及び法令立案の作法（形式や用語等の立法技術）を取り上げる。</p> <p>これらを通じて、立法過程や立法内容を分析する視座を獲得するとともに、法律案の立案に必要な基礎的な素養を修得することを目的とする。さらに、立法の実務の世界を理解することによって、実定法の解釈適用の能力も更に向上するのではないかと期待している。具体的イメージが湧くよう実際の立案事例をできるだけ取り入れるとともに、現在の立案実務上の主要事項については幅広く取り上げるなど、実践的な内容としたい。</p>				

Course Code	5111100	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	司法過程論				
Faculties	太田 勝造				
Course Objectives/Overview	<p>法の定立によって法が自動的に実現されるものではない。法システムの強制の通りに法が実現されるわけでもない。法は社会構成員間の相互作用のひとつのパラメータとして作用するに過ぎない。この社会的相互作用のプロセスを経由することを通じて、同じ内容の法も社会の多様性にしたがってさまざまな社会状態を帰結する。法の解釈適用も法実務も、このような法の社会過程（法過程）を通じてその社会的意味を付与されるものでしかない。したがって、現代社会における法過程への洞察なくして法を論じることはできない。法過程への洞察は、社会科学的手法によってのみ得ることができる。本講義は、法の解釈適用、法実践、法と社会の相互作用に対して、</p>				

	<p>学際的手法を用いてアプローチするものである。学際的手法として本講義で重視するのは、「法と経済学」、ゲームの理論、進化論、認知科学、社会心理学、および、経験科学的社会学の手法である。法と経済学の手法を重視するのは、その政策科学としての色彩が、法の解釈適用という政策的価値判断の色彩の強い社会行為に対して従来の法解釈学とは異なる新たな光を当てるものだからである。進化論とゲームの理論を重視するのは、それが社会構成員間の相互行為の構造とダイナミクスを明らかにするものだからである。経験科学的社会学の手法を重視するのは、法律学の多くの争点が社会の現実に対して開かれた問題であり、社会的事実の間主観的理解なしには意味のある解決を採求できない性質のものだからである。社会心理学を重視するのは法規整の対象たる人間の本質に科学的に肉薄するものだからである。</p> <p>社会科学の諸手法は、公共政策大学院の学生にとっては比較的慣れ親しんだ手法と言えるものであろうが、差し当たりは、社会科学の発想方法まで遡って説明して行く。その上で、統計学、法と経済学、社会心理学、ゲームの理論、進化論などの初歩を説明して行く。</p> <p>本講義では、法をめぐる現代的で具体的な諸問題を主要な対象とし、上記社会科学の諸手法を学際的に用いてアプローチする。具体的には、司法制度、裁判手続、所有権法、契約法、不法行為、および刑事法における具体的諸問題を対象として議論する。</p> <p>なお、本講義は法曹養成専攻課程（法科大学院）の現代法過程論と合併で行う。</p>
--	---

Course Code	5111110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	刑事政策				
Faculties	川出 敏裕				
Course Objectives/Overview	現在の刑事政策に関わる様々なテーマにつき、その問題状況を把握するとともに、あるべき解決策を探ることを目的とする。				

Course Code	5111120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	知的財産政策				
Faculties	加藤 浩				
Course Objectives/Overview	知的財産権とは、特許権、商標権、意匠権、著作権などの総称であり、近年、政策的なアプローチの重要性が高まっている。本講義では、これらの知的財産権を取り扱う知的財産政策について、基礎理論を整理した上で、知的財産政策の経緯と現状について解説し、今後の政策課題について考察することを講義のねらいとする。講義では、第一に、知的財産分野の主要なテーマごとに、知的財産政策について講義を行う。例えば、企業・大学における知的財産活動の現状・課題や、イノベーション政策、情報社会などのテーマにおける				

	<p>政策課題について考察する。また、秘密情報管理や安全保障との関係から、知的財産政策の今後の方向性について検討する。第二に、クールジャパン戦略について解説し、文化政策や地域政策における知的財産行政の現状と課題について考察する。また、文化多様性・生物多様性と知的財産政策との関連性についても考察する。第三に、グローバルな視点から、知的財産政策について講義を行う。例えば、途上国に対する開発投資や環境保全における知的財産政策の役割について考察する。また、人権保護の観点を含めて、医薬品行政・医療行政と知的財産政策の在り方について考察する。受講生として、公共政策に関心のある文科系の学生・社会人だけでなく、技術系の学生・社会人も想定し、最近のトピックス（オープンイノベーション、AI（人工知能）、ブランド戦略、クールジャパン政策、産学連携など）も適宜取りあげていく予定である。講師の意図としては、知的財産法制・政策がどうなっているかより、なぜそうなっているかを考えることに主眼を置いた講義を進めることとしたい。教科書、参考書は、最初の講義で紹介するが、原則として、講義資料を講師が作成して毎回、配布する。（希望者には、経済産業省、文部科学省、文化庁の見学などを実施する予定。）</p>
--	--

Course Code	5111150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際組織と法				
Faculties	森 肇志				
Course Objectives/Overview	<p>近年国際条約、とりわけ多数国間条約が数多く結ばれているが、これらのうち、条約により運営機関が設置されるものが多くみられ、条約体制と呼ばれるものが形成されている。それらは当該条約の適用・執行さらには発展という、国際法の実現において大きな役割を果たしている。</p> <p>また、そうした条約の多くは、それを実施するための国内法や国内裁判所による適用等を通じて、国内法平面においてもますます重要になってきている。</p> <p>本演習では、こうした条約体制（国際組織を含む）の構造ならびに実際の運用のあり方を、参加者のリサーチを中心に明らかにすることを通し、現代国際法の現実の姿の一端を明らかにする。具体的イメージとして、2015年10月から2017年9月まで『法学教室』に連載された「国際条約の世界」、とりわけ2015年10月号掲載の「連載開始にあたって」を参照されたい。</p> <p>本演習は法科大学院との合併授業である。</p>				

Course Code	5111160	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際経済法				
Faculties	中川 淳司／中谷 和弘				

Course Objectives/Overview	WTO法と国際投資法を中心に講義する。国家債務、経済制裁等に関する国際公法上の問題にも触れる。実務家の特別講義を予定している。				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5111170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際人権法				
Faculties	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	今日、人権は国際社会における最も中心的な関心の一つであり、日本でも法曹関係者を初め、多くの立法・行政機関関係者、民間団体が「国際人権」に関与するようになってきている。この授業では、人権の国際的保障の現状とあるべき姿について考察する。そのために、現行諸制度の仕組みと運用について理解を深めるのはもちろんのこと、背景となる歴史と理論、特に国際法理論との連続を重視して討論する。				

Course Code	5111190	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Public Policy				
Faculties	SATO Chiaki				
Course Objectives/Overview	This course aims to learn and think how to realize public policies via laws in Japan. The goal is to have enough abilities in analyzing and making a presentation about solving strategies to public issues we face. Also, we will compare Japanese ways and those of other countries for implementation of public policies. We will learn rule making processes and implementation of public policies with reading, writing, and discussing in this course.				

Course Code	5111200	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法制執務の基礎と応用-法治国家の政策対応				
Faculties	外山 秀行				
Course Objectives/Overview	政府の各府省は、所管法令について、個別事案に応じた解釈運用を行うとともに、新たな政策課題に対応した制度改正を行うべく企画立案事務を遂行している。本講義は、こうした法令の解釈運用と企画立案に当たって必要となる基礎的・技術的な事項を解説し、併せて、立法過程の仕組みを概観することにより、法令解釈、立法技術、立法過程の三分野にわたって、法制執務に携わるために必要な知識を養成することを目標とする。				

Course Code	5111210	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Japanese Law				

Faculties	FISHER James
Course Objectives/Overview	This course will give help students understand the fundamentals of law in contemporary Japan. Students will emerge with at least a foundational understanding of key concepts in Japanese law, both in isolation and in their social context. Students will learn critically to discuss strengths and weaknesses of various areas of Japanese law, and offer comparisons with other systems where appropriate. The course assumes no knowledge of Japanese law, or law in general.

Course Code	5112010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治学 I				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	政治系諸科目を履修したことがない、または政治学を基礎から学び直したい公共政策大学院生を主対象として、政治学的なものの方や基礎的な概念を一通り把握できるようになることを目標とします。				

Course Code	5112020	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治学 II				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	官僚制、政官関係、地方自治制度等、行政学の基本的な知識を習得することを目的とする。諸制度の概略、現在の研究の成果とその課題等に関して、講義を行うとともに、これらに関する基本的な文献講読を並行して行う。まず、毎週テーマに沿って政府の制度、機能等に関する講義を行う。その後で、指定された文献を事前に読んできたことを前提して、行政学の諸課題がどのように議論され、またどのような枠組みで把握されてきたのかを、参加者の議論を通じて学んでゆきたい。				

Course Code	5112030	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治思想と公共政策				
Faculties	荻部 直				
Course Objectives/Overview	政治思想上の諸問題は、政策を作り、運用する過程に、さまざまな形で深くかかわっている。これは、いわゆる「公務員倫理」（あるいは「政治倫理」？）といったような、決定者の心得にとどまるものではない。現場で直面する、個々の課題について選択を迫られるとき、結論に至る筋道は多くの場合、何がいったい「平等」か、人のいかなる「自由」を守るべきか、政府がなすことの限界をどうさだめるか、そもそも「政治」とはいったい何なのか.....といった、原理上の問いについて、当面する状況に適したアイディアを見いだす思				

	<p>考作業と切り離せないのである。</p> <p>この授業は、担当者の報告と、参加者全員の討論による、演習形式で行なう。大学院法学政治学研究科総合法政専攻と合併で、毎回、多量の文献を読むことになるので、時間と労力の負担はかなり重い。毎週、丹念に下調べをしながら読みこなす、能力と努力が不可欠である。授業時間は毎回延長するので、6限で他科目を履修しようと考えている人はご遠慮願いたい。</p> <p>ほかの授業の予習や成績のことを放念して、下調べに専心し、活発に議論する「ノリのよさ」のない人は、受講しない方が幸せな大学院生活を送れるだろう。</p>
--	---

Course Code	5112040	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政策分析				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析は、決定者に対してどのような政策的な選択肢が存在するのかを示し、その効果やコスト等に関する情報を明らかにするものである。この授業においては、政府が社会経済に働きかける政策の様々な手段という側面を中心的な視点にして考察してゆく。</p> <p>まず、最初に現在のガバナンスの変容が政策手段の選択にどのような影響を与えているのか、その大きな動きについて論ずる。さらに、政策の様々な手段を評価し、判断する軸として、どのような観点が重要となるのかを議論する。次に、具体的な政策の事例を挙げながら、(1) 規制、補助金、直接供給等といった政府の用いる政策手段の基礎的なレパートリーにどのようなものがあるのか、また、(2) 個々の政策手段には、どのようなメリットとデメリットが存在するのか、さらに(3) 個々の政策手段が有効に機能する条件はどのようなものであるのか、について考察してゆきたい。この授業を通じて、政策的な課題に対応するための手段的な選択肢についての一定の見取り図を得、具体的な課題にそって具体的な手段を組み合わせ新たに構築してゆくための基礎的な能力を身につけることを目的とする。</p>				

Course Code	5112050	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	自治体行政学				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、現代日本の自治体行政に関して、実際の制度と運用に即して概説する。</p> <p>行政学各論として、行政学一般を都市自治体に適用する講義を行う。</p> <p>なお、行政学各論としての性格から、都市政治・自治体政治に関することは、基本的には本講義の対象外かもしれないが、政治行政の</p>				

	密接な関係から、重要な環境要因として解説する。また、自治体政府相互の関係、あるいは、自治体政府と全国政府の関係は、政府間関係論の領域かもしれないが、必要な範囲で、本講義でも言及することはある。
--	--

Course Code	5112060	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅰ				
Faculties	金井 利之／山野 岳義				
Course Objectives/Overview	<p>公共政策の形成、実施、評価は、主として行政機関による組織的活動である。組織活動を効果的に実施するためには、多数の要素から構成されている組織活動の適切な「管理」が不可欠である。この授業では、このような公共政策に関する管理を「公共管理」と捉え、その基本的な考え方について述べるとともに、統治制度の枠組に触れた後、行政組織について、「行政管理」のための資源と手法、病理、改革等の基本的事項について考察する。今年度も以前に引き続き、行政管理の中心的なテーマであるとともに「基盤行政」ともされてきた、人事管理及び公務員制度に、その中でも公務員制度改革に、特に、焦点を当てて、講義を展開する。</p>				

Course Code	5122070	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅱ				
Faculties	(未定)				
Course Objectives/Overview					

Course Code	5112080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ポリティカル・メソドロジー				
Faculties	加藤 淳子				
Course Objectives/Overview	<p>政治学の方法論の基礎を身につけることを目的とする。比較の方法を中心に、基本的なゲーム理論・社会的選択理論を含む合理的選択理論、基本的な統計分析の考え方、歴史的アプローチを含む新制度論、実験の方法など、政治学における分析手法を幅広く取り扱う。</p>				

Course Code	5112090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際行政論				
Faculties	城山 英明				
Course	国際行政とは国境を越えた相互依存にともなう諸課題を解決する				

Objectives/Overview	<p>ための様々な組織的マネジメントである。多国間国際組織の活動のみならず、二国間等の調整活動やNGO等の活動も含まれる。国際組織と国、NGOといった組織間関係のマネジメントも1つの焦点である。国際行政は2つの特質を持つ。第1に国際行政の対象は多量かつ多様である。第2に国際行政活動は諸主権国家制という分権的な統治制度の下で行われる。本講義では以上のような基本的特質を持つ国際行政現象について、組織論、管理論（財政、人事等）、活動論の観点から行政学的に分析することを試みる。活動論に関しては、国際安全保障（国際刑事司法を含む）、国際援助、専門的技術的行政（国際的規制調和等）の具体的事例をとりあげる。</p>
---------------------	--

Course Code	5112101	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治経済 I				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	<p>国際政治経済論は国際政治と国際経済は相互にどのように関係しているのかを理論的かつ体系的に解明することを目標とする。理論的枠組みとしては、現在の国際関係理論の主要理論であるリアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムを中心に考察する。応用分野としては、通商、通貨、金融、開発などのほか、環境問題も扱う。</p>				

Course Code	5112102	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際政治経済 II				
Faculties	樋渡 展洋				
Course Objectives/Overview	<p>現在の国際経済の政治的ガバナンスの特徴は政治と経済、政策決定の国際要因と国内要因が交錯することにある。戦後の西側先進諸国の政治経済は「埋め込まれた自由主義」と称され、民主政治の帰結としての国内経済政策による経済発展と社会安定、およびそれに立脚した国家間合意による自由な貿易、資本移動の体制を発展させてきた。近年の最も注目すべき趨勢は、社会主義体制の崩壊により、民主政体と市場経済が国際的に波及し、規範化され、それとともに、国際経済協定の数が急速に増大し、国際経済機関の役割が拡大してきていることある。その結果、政治と経済、政策の国際要因と国内要因の連動関係が一層強化され、それが「埋め込まれた自由主義」を変容させている。</p> <p>国際政治経済とは、このような現状を念頭に、政府の対外経済政策や国家間の経済をめぐる政治的関係を理解する学問で、その際に、経済的要因を前提に、それらの国際・国内政治の影響について究明するところにその独自性がある。その分析枠組は-</p> <p>外経済政策・国際経済関係 = 政治的独立変数 + 経済的制御変数 + 政治的変数 * 経済的変数の交差変数</p>				

	<p>-- と表現でき、制御変数に関しては経済学の基礎理論に立脚し、独立変数に関しては国際政治や現代政治分析の知見を応用する。本講は、このような国際経済関係の政治的側面に関する最近の理論展開と最新の実証成果を紹介する。</p> <p>国際経済関係の規定要因としての国内制度や国際協定に焦点を当てることは、経済危機や経済開放、構造改革の世界的伝播の究明のみならず、各国の国内経済政策と国際経済連携の特徴を理解する上で極めて重要である。そして、経済の国際化に伴い、安定的な経済運営と政権維持の両立に迫られた政府の選択肢がどう制約・規定され、それら政府の対立・連携の結果、地域・国際経済関係がどう展開・変容しているかを理解することは、行動主体としての国家・政府が経済政策的合理性と国内政治的正当性をどう調整するかを考察することでもある。この調整を理解することが本講の政策実践的含意であるとともに、本講と国際経済、国際政治、国際経済法科目との補完的相違点である。</p>
--	---

Course Code	5112111	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Conflict Study				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	<p>What is an international conflict? Will it be possible to discuss the origins of international conflicts in more general and abstract ways, or would it be the case that each conflicts are so distinct in nature that rule out theoretical abstraction? Those are the basic topics that I aim to cover in this course.</p> <p>International conflicts encompass a wide terrain; here I will focus on what has come to be called the new kind of wars, those in which cultural symbols and identity play out in the development of violent conflicts, as opposed to the more traditional kind of warfare based on the acquisition of secular interests.</p>				

Course Code	5112131	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Science, Technology and Public Policy				
Faculties	SHIROYAMA/ALEMANNNO/MATSUO				
Course Objectives/Overview	<p>The development and diffusion of science innovative technologies is indispensable for modern society. However, despite its benefits, the development of science and technology is not without various risks and social problems. So far as we are going to make societal decisions for the use of science and technologies with diverse social implications that encompass both risks and benefits, sometimes involving values implications, there is a need for mechanisms of decision making and management of the development and utilization of science and technology. Decisions can be different depending on environmental, institutional and cultural conditions. In addition, innovative policy instruments/ mechanisms to deal with rapidly changing science and technology, including regulatory measuesmeasures, are required for implementing decisions.</p> <p>This course will deal with wide range of issues from local to global levels faced at</p>				

	the interface areas between science, technology and public policy from comparative perspective of Japan, the US and Europe. It offers key theoretical issues surrounding Science and Technology and provides students with the tools and frameworks, such as risk assessment/ management and transition management, to analyze them. This course invites students from both natural science backgrounds (i.e. the graduate school of engineering, new frontier science and so on) and social science backgrounds (graduate school of public policy, law and politics, and economics and public policy). We expect students to acquire interdisciplinary perspective in addition to their primary major, which is one of the critical skill in analyzing complex social technical issues posed by science and technology.
--	--

Course Code	5112140	Term	A 1	Credits	2
Course Title	開発研究				
Faculties	佐藤 仁				
Course Objectives/Overview	<p>開発/発展という現象を歴史的、批判的な観点から検証し、あわせて研究手法の紹介も行う。とりわけ、開発援助における権力作用、国家とは何か、貧困への視点、技術の役割、不確実性や知識、資源環境問題の位置づけなどを扱う。学生諸君が先入観として持っている「開発」のイメージを揺さぶり、一段深い考察のレベルに誘導することが目標である。</p> <p>形式は、講義と演習を折衷した形をとり、課題文献の予習を前提として、学生が主体的に議論に参加する形をとる。よって「学ぶだけ」の学生は歓迎しない。考えたことを発信する意欲のある学生を歓迎する。課題文献の要約と批判を含めたミニ・レポートを3回課すが、この採点は、学生同士で行う。また、教室では、議論の喚起を目的とした簡潔な報告をする訓練を行い、対話する上でのコミュニケーション能力養成も視野にいれる。英語を中心に一定量の文献を毎週読んでもらうが標準的に4時間程度の予習時間が確保できそうもない人には受講をすすめない。</p> <p>具体的なスケジュールや課題文献リストについては初回の授業でシラバスを配布したうえで解説するので、受講希望者は必ず初回の授業に出席してほしい。人数を限定するために、7月中旬に課題を出す可能性がある。課題を出す場合には、具体的な課題の内容や提出締め切りについては、6月までに周知する。課題をクリアした者の登録を優先し、何からの事情によって課題ができなかった人は、人数に余裕がある場合のみ受講を認める。</p>				

Course Code	5112150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策過程論				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	政策の決定・実施・評価の一連のプロセスについて検討する。政策過程の政策課題の認識、課題設定、具体案の作成、意思決定(行政部内、議会)、モニタリング・評価の各段階において、どのような要因				

	が影響するのか等に関する見取り図を与えることを意図する。また、各々の段階で配慮すべき事項についても、具体的事例を素材に検討する。
--	--

Course Code	5112170	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	現代日本政治				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	現代日本政治の主要トピックスのうち、いくつかを選んで、さまざまなアプローチを用いて、インテンシブに分析します。				

Course Code	5112181	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Modern Japanese Diplomacy				
Faculties	KOHARA Masahiro				
Course Objectives/Overview	<p>私たちの守るべき国益とは何か？そして、それをどうやって実現するか？</p> <p>米国の覇権に陰りが見える中で、台頭する国家やテロリストが跋扈し始め、冷戦後のリベラルな国際秩序は力による現状変更や破綻国家が生み出す暴力や難民に傷ついている。グローバル化、情報化、技術革新は新たな価値や豊かさを生み出す一方で、リスクや脅威も増大させている。そして、気候変動や感染症などが猛威を振るい、国家や人間の生存を脅かす。今日、国家・国民の安全と繁栄という国益はこうした多様な挑戦を受けている。日本はこれにどう対処すべきなのか？そして、世界と深くつながる日本として世界の平和と繁栄、そして自由で開かれた秩序の維持に何ができるのだろうか？</p> <p>本講義は、以上の問題意識に立って、国益を座標軸の中心に据え、日本の外交、そして世界の平和と繁栄の問題を考えていく。</p> <p>What is National Interest which we have to defend? How can it be realized?</p> <p>While the United States is shaky in its hegemony in the world, the rising powers and terrorists are becoming rampant. The liberal international order in the post-Cold War period is hurt by the alteration of the status quo due to violence and a refugee crisis caused by the failure of nation states('failed states'). Globalization and a technology revolution with an ever evolving social media produce new values and affluence, while, on the other hand, they multiply risks and threats in the world. Climate change and infectious diseases are raging and threaten the survival of nation states and humanity. Today, national interest, such as the security and prosperity of a nation and people, faces these various threats. How does Japan tackle them? What can Japan do to maintain the peace and prosperity of the world? What can Japan do to defend free and open international order? Japan is deeply connected to all these issues and therefore is inextricably involved in them.</p> <p>With an awareness of the above mentioned issues, this course's lectures provide a framework centered around Japan's National Interest and how Japanese diplomacy can help maintain the peace and prosperity of the world.</p>				

Course Code	5112191	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Policy Process and Negotiation				
Faculties	AOKI Naomi				
Course Objectives/Overview	<p>How are public policies formulated and implemented? What actors are involved in the policy process, and at what stage and to what extent do they exert influence? How do policy processes differ across countries in different political, administrative, and institutional settings? This course introduces theories and cases to help students address these questions. It surveys seminal theories of policy processes, decision making, bureaucratic politics, and negotiation. Students learn about various modes of governance (i.e. bureaucracy, market-oriented government, collaborative governance, participatory governance, and adaptive governance), and about how they involve different types of actors, so that their influences and sources of policy ideas can differ substantially. The course combines lectures and discussions of cases from multiple countries and policy areas; for the latter, students are asked to critically assess pros and cons, and propose reforms or come up with strategies, acting as agents in the policy process.</p>				

Course Code	5112195	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Field Seminar in International Relations				
Faculties	HENG Yee Kuang / AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This course provides an overview of the key issues and theories of global and international affairs. Introductory sessions will cover core theories as well as integrating concepts to help understand International Relations as a complex interplay between power and interests, cooperation and discord; institutions and norms, and diverse actors. Subsequent weeks will apply these concepts to selected issue areas including security and war; peacekeeping and humanitarian intervention; international trade and finance; and global public goods such as climate change and global health.</p> <p>It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the international system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global agenda of the new millennium will be shaped by drivers such as globalisation, cooperation and discord, and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools 2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives 3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 4. Critical thinking, analytical and reading skills 				

Course Code	5112211	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process				

Faculties	HAYASHI Ryoza
Course Objectives/Overview	<p>Objective</p> <p>The objective of this session is to understand the different economic policy-making process by analyzing Japanese process from comparative perspective. While important policy is carried out through either budgetary measures or legislative measures, the course will focus on legislative process of regulatory policy. Legislation is heavily influenced by the following three actions; interaction among a part of legislators, relevant executive officials and interest groups, leadership role of chief executive officer and the enhancement of policymaking technique. National system, the combination of above-mentioned elements is shaped by the history, values and institution of each country. After identifying these elements in Japanese system, we will examine how these elements shape economic policy in American and British system. Then we compare the pros and cons of each system under specific environment.</p> <p>Adequate emphasis will be made on the analysis of process of Trump economic policy and Abenomics(economic policy of Abe administration).</p> <p>Student will be expected to make joint report on the assigned readings in the class, and to participate in the class discussion. Final report will be the recommendation on the improvement of legislative process of specific countries.</p> <p>Class will be conducted in English. Students are encouraged to actively participate in the class.</p>

Course Code	5112220	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Governance and Development				
Faculties	MOTODA Yuka				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of the course are: 1) to give students a historical understanding of the context of the rise and fall of major development theories on which donors have based their aid policies; 2) to deal with the ways in which current international development cooperation takes place in the areas at issue - with the primary focus being placed on 'governance' amongst them; 3) to provide a critical assessment of the ways in which the concept of 'governance' and the role of state are framed through international development discourse in general and development aid in particular.</p> <p>By the end of the course, students will be able to understand firstly why a certain theory was emerged at a certain point of history and why it was adopted by donors, and how it was turned into their aid policies. Secondly, students will deepen their understandings of the impact of implemented aid policies on recipient states' governments and societies at large - i.e. the governance of recipient states. Thirdly, students will be able to follow up emergent 'unorthodoxies' that challenge the dominant discourse on governance and development in the international aid industry.</p>				

Course Code	5112241	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Politics and Public Policy				
Faculties	MAEDA Kentaro				

Course Objectives/Overview	This course is a general introduction to political science. We will survey a wide range of topics in order to acquaint students with the basic concepts and theories that are useful for understanding politics in the modern world. Since political science is a vast discipline, our coverage is limited to the most important topics. Students will learn why politics has been considered as a crucial aspect of human life, how political decisions are made, and how those decisions are related to the fundamental goals of our society such as freedom, equality, and justice.				
----------------------------	--	--	--	--	--

Course Code	5112242	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ロシア軍の歴史：モスクワ国家からセルジュコフ改革まで				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史の重要な構成要素である軍史について学ぶ 2. ロシア史における軍の役割について学ぶ 3. 軍が技術・社会・官僚制の発展に果たす役割について学ぶ 4. プーチン大統領時代のロシアの軍事大国化について学ぶ 5. ロシアのウクライナ、非承認国家、中東への政策を総合的に学ぶ 				

Course Code	5112243	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	連邦制と紛争緩和				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域紛争と連邦制について基本的な知識を得る 2. 旧ユーゴスラヴィア、環黒海地域など紛争多発地域の地誌と政治を学ぶ 3. 紛争管理機構について事例を学ぶ 4. 連邦制は紛争解決手段として有効か考察する 5. 授業の終盤に、ジェラルド・トール(Gerard Toal)教授が参加するので、英語で聴講し討論する 				

Course Code	5112250	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Social Science				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	The course provides an overview of epistemological and methodological concepts, issues and techniques concerning the production of scientifically relevant knowledge in the domain of social sciences. It is designed and intended for an audience of post-graduate or doctoral students coming from both quantitative and qualitative backgrounds, therefore including students of natural and applied sciences. It proceeds from the illustration of key basic concepts in defining research activities and production of knowledge, with particular reference to their historical evolution in philosophical debates, to the clarification of methodological choices for a number of social science disciplines, to the exploration of themes which are				

	contingent to methodological questions, such as methodological pluralism and interdisciplinarity, ethics of scientific research and effective communication.
--	--

Course Code	5112260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to International Politics				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>The course provides an overview of the main outstanding issues in international politics. First, after a brief historical introduction, it looks at the very definitions of this field of studies under a number of theoretical perspectives, and then focuses on several emerging problems of global nature. Be-sides the theoretical and methodological discussions characterising international political studies, the course highlights – by making a systematic use of illustrative examples – the relevance of geo-politics, of international economic questions, of international organisations, and of environmental concerns. The course is intended for an audience of post-graduate students with no or limited background in international studies, and aims to provide the information and analytical tools for an effective orientation in the contemporary global political setting.</p>				

Course Code	5112270	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Security Studies				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>The aim of this module is to introduce students to key concepts and issues that constitute the agenda of Security Studies today. It stresses different approaches to understanding security; and the key ongoing transitions and drivers within the global system, which has led to a mix of both 'old' and 'new' security challenges to be addressed. Various historical and theoretical debates on what might be termed 'classical' or 'old' security concepts in the 21st century are examined, such as the role of Great Powers, the Security Dilemma, Arms Races; territorial disputes and geo-political competition. At the same time, it also enables students to understand current debates about the impact of globalization on security through studying issues such as trans-national terrorism; the spread of infectious diseases and ethnic conflicts. These may be loosely labelled the 'new' security agenda. It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the global system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global security agenda of the new millennium will be shaped by drivers of change such as globalisation and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools 2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives 3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 4. Critical thinking, analytical and reading skills 				

Course Code	5113007	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Principles of Microeconomics				
Faculties	OGAWA Hikaru				
Course Objectives/Overview	This course covers the introductory microeconomics to students who are not majoring in Economics. It provides a framework for learning about the social surplus and the behavior of market participants. The course places primary emphasis on the role of market, and then analyzes the role of government in the market.				

Course Code	5113009	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Principles of Macroeconomics				
Faculties	KUBOTA So				
Course Objectives/Overview	This course provides a fundamental knowledge of macroeconomics for first-time learners. In particular, I intend students to be able to understand economic news, articles, reports, etc.				

Course Code	5113016	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Microeconomics for Public Policy				
Faculties	HATTA Tatsuo				
Course Objectives/Overview	<p>The course covers the part of microeconomics principles that are useful for economic policy formulation and evaluation. In particular, we will apply them to contemporary economic policy issues of Japan.</p> <p>The course proceeds as follows. First, we learn fundamental analytical tools of microeconomics such as supply and demand, market mechanism, concept of social surplus. We then apply them to policy issues such as taxation and subsidies, public goods, external diseconomies, information asymmetry. Toward the end, we will discuss trade-off between efficiency improvement and income inequality reduction.</p>				

Course Code	5113017	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics for Public Policy				
Faculties	HATTA Tatsuo				
Course Objectives/Overview	Under the supervision of Prof. Hatta, the TA will go over some lecture materials, problem sets and homework materials.				

Course Code	5113018	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics for Public Policy				
Faculties	KUBOTA So				
Course	This course provides a fundamental knowledge of macroeconomics for first-time				

Objectives/Overview	learners. In particular, I intend students to be able to understand economic news, articles, reports, etc. Students will also learn skills to handle macroeconomic data.
---------------------	--

Course Code	5113019	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics for Public Policy				
Faculties	KUBOTA So				
Course Objectives/Overview	It is the complement course of Macroeconomics for Public Policy. Teaching Assitants will provide answer keys of in-class quizzes and problem sets. They will also give additional material.				

Course Code	5113021	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Microeconomics				
Faculties	ASANO Akihito				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to develop a sound understanding of the basic tools of microeconomic analysis. We progress from the study of the optimising behaviour of individual actors (both consumers and producers) in an economic setting, to a study of the interaction of these agents in one market (partial equilibrium analysis) through to a study of the determination of prices and the allocations of resources and goods in the economy as a whole (general equilibrium analysis). As well as covering the main elements of the standard price theory for (perfectly) competitive markets, we shall also consider situations where agents interact strategically. It involves an introduction both to the theory of games as well as topics in information economics.				

Course Code	5113031	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics				
Faculties	ASANO Akihito				
Course Objectives/Overview	In the Practice Session for Microeconomics, the TA will discuss the problem sets, focusing upon any particular difficulties that the class encountered.				

course Code	5113041	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	This course introduces the theory of dynamic macroeconomics, which provides standard structure for macroeconomic policy debates. Its emphasis is on rigorous analysis of households' and firms' dynamic behaviors. Students will learn how markets facilitate their trades, and why markets sometimes fail to achieve full employment or economic growth. The dynamic macroeconomics is useful for policy makers to map out various policy issues in a complex national economy. This course prepares students for further studies in such fields as monetary economics and				

	policy, economic growth and development, public finance and social securities, banking and finance, and international trade and finance.				
--	--	--	--	--	--

Course Code	5113051	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	Practice Session for Macroeconomics provides TA session series that complement Macroeconomics (5113041).				

Course Code	5113060	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	統計分析手法				
Faculties	陣内 悠介				
Course Objectives/Overview	統計学の基礎理論を習得し、データ分析のスキルを身に付けること。				

Course Code	5113061	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Statistical Methods				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	This is an introductory course in statistics and econometrics. The objective of the course is to make students become familiar with how to use and interpret basic descriptive statistics, probability distributions, point and interval estimations, hypothesis testing, forecasting, and simple regression analysis. The course will focus on concepts and practice needed for understanding the existing empirical studies as well as for carrying out their own empirical works in economics. Students will learn how to apply the methods presented in class to real dataset through computer exercises using the econometric software (mainly STATA).				

Course Code	5113065	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Statistical Methods				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	This is a practice session that complements Statistical Methods (5113061).				

Course Code	5113074	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				

Course Objectives/Overview	This course introduces basic econometrics that is indispensable to evaluate the effectiveness of public policies.				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5113075	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculty	HASEBE Takuya				
Course Objectives/Overview	This course introduces basic econometrics that is indispensable to evaluate the effectiveness of public policies.				

Course Code	5113084	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculty	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113085	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculty	HASEBE Takuya				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113086	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculty	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113152	Term	S 1	Credits	2
Course Title	International Trade Policy				
Faculty	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	This is a graduate level class in the standard theory of international trade and international trade policy. The main questions of this class are: - Why do countries trade?				

	<ul style="list-style-type: none"> - Under what conditions countries gain from trade? - What are the optimal trade policies that countries should pursue? <p>In this class we will cover in great detail the fundamental models of international trade: Armington model; Ricardian model; Heckscher–Ohlin model; and Krugman model. After covering these models, we will focus on international trade policy.</p>
--	---

Course Code	5113161	Term	A 1	Credits	2
Course Title	International Financial Policy				
Faculties	UEDA Kenichi / KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	Understand objectives and effects of key policies in international finance from both theoretical and empirical perspectives. In particular, this course focuses on a fundamental question: How does, and should, the international financial system play roles in two important macroeconomic phenomena, i.e., business cycle and economic growth? In addition, this course covers frequently discussed recent policy issues such as monetary union, international reserve, and spillovers of macroeconomic policies to other countries.				

Course Code	5113180	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Microeconomic Approach				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to understand the basic concepts and methods of development microeconomics. It is designed for a wide range of students who are interested in international development. It covers development, poverty, inequality, vulnerability, social assistance, program evaluation, human capital, finance, agriculture, and institution.				

Course Code	5113190	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Macroeconomic Approach				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	Understand key policy issues in macro development from both theoretical and empirical perspectives. First, students are expected to build theoretical foundations through neo-classical growth theory and the new growth theory. Second, students are expected to build empirical foundations through key data analyses for the catch-up process of developing countries. Third, students are expected to recognize various barriers for economic development, effects of removing barriers in the development process (of now advanced countries), and policy implications from the related studies. In addition, students are expected to find that key barriers lie in the financial system and the labor markets as well as in the social institutions (e.g., family and gender issues).				

Course Code	5113240	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Economic Analysis of Public Sector
Faculties	OGAWA Hikaru
Course Objectives/Overview	This course covers the fundamentals of economic analysis of public sector ("public economics"). Specifically, it provides an overview of the key theorem, hypothesis, and the concept in microeconomic public policy analyses. Particular emphasis is directed at developing tools that can be applied theoretically to clarify essential economic concerns in the current public sector. Such concerns include the equality issues, externality, optimal taxation, preference revelation, and public goods provision.

展開科目

Topics Courses

Course Code	5121010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	環境法				
Faculties	中谷 和弘／大塚 直／桑原 勇進				
Course Objectives/Overview	わが国では幾多の公害事件訴訟を通して不法行為や差止め等をめぐる民事法理論に大きな進展が見られたところであり、まずはその流れを把握するとともに最新の問題状況を正確に理解することが第一の課題である。しかし、損害賠償や差止めといった民事法の伝統的なテーマに思考を局限することなく、環境救済法という枠組みの下に、経済学理論に基づく近時の救済手法や環境哲学に立脚する新たな救済原理などをも視野に収めた幅広い考察を求めていく。				

Course Code	5121020	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	競争政策と法				
Faculties	白石 忠志				
Course Objectives/Overview	競争法（独禁法）の基本的な枠組みと考え方を、体系的講義と事例等で理解する。「競争法」は、この分野の世界的通称（competition law）に相当する日本語であり、「独禁法」は、日本の競争法の呼称として従来から定着している言葉である。 条文や基本資料などの基本的なことに時間を使う。同時に、先端の動きを紹介し基本的な体系のなかに位置付けることにも意を用いたい。				

Course Code	5121040	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	経済刑法				
Faculties	佐伯 仁志				
Course Objectives/Overview	経済刑法の基本的知識を習得することを目的とする。				

Course Code	5121045	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	アメリカの経済犯罪				
Faculties	樋口 亮介				
Course Objectives/Overview	アメリカの経済犯罪について、一通りの理解を得る				

Course Code	5121050	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共哲学と法				

Faculties	井上 達夫
Course Objectives/Overview	<p>価値観や利害が多面的に分裂競合する現代社会において、公共性とはまた、公私の区別は一体何を意味するのか。そもそもかかる多元的社会において公共性を語ることは可能なのか。公共性の主張は結局、特定の私的利害や私的価値関心を他者に押し付けるためのイデオロギー的合理化装置に過ぎないという批判にいかにして応えるのか。</p> <p>多元的社会における公共性なるものが可能だとしても、かかる公共性をもつ価値の形成・発展に対して、法は桎梏なのか、促進条件なのか。そもそも、かかる多元的社会において法が公共的な正統性をもちうるための条件は何なのか。</p> <p>公共政策の前提となるこのような基本問題について、現代の「公共哲学」および「公共性の哲学」をめぐる論議を展望し、かかる論議の争点を民主主義と法の支配の関係をめぐる法哲学的論議と連動させて検討することにより、理解を深化させ、個別政策課題に通底する原理的問題を把握する能力の練磨を図る。</p>

Course Code	5121080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	労働法政策				
Faculties	濱口 桂一郎				
Course Objectives/Overview	<p>伝統的な公労使三者構成の審議会において労使団体と政府(厚生労働省)の間で行われる対立と妥協のメカニズムとともに、近年顕著な官邸主導による立法も含め、具体的な労働立法の政策決定過程を跡づける形で、労働法制の内容を説明する。いわば、完成品としての労働法ではなく、製造過程に着目した労働法の講義である。</p>				

Course Code	5121090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障法政策				
Faculties	島崎 謙治				
Course Objectives/Overview	<p>社会保障をめぐる法政策は、高齢化・少子化の進展、経済成長の低迷、経済活動の国際化など、社会経済の大きな変化を背景に、非常にダイナミックな動きを見せている。しかも、社会保障制度は、国民の生活に直結し、かつ国の経済活動にも影響を与えるために、現代行政の中でも大きな位置を占めるに至っている。</p> <p>この授業は、現代行政において重要性を増しつつある社会保障について、実際に政策立案に携わった経験も踏まえ、法政策とは何かという点にポイントを置き、基本的に講義形式で行う。</p> <p>具体的には、総論として、法政策とは何か、人口問題と社会保障、社会保障の国際比較、について講義した後、各論として、医療を中心に取り上げる。また、年金および社会福祉についても講義する。</p>				

Course Code	5121110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際租税法				
Faculties	増井 良啓／伊藤 剛志				
Course Objectives/Overview	租税法の国際的側面を学びます。企業活動がグローバル化する中で、国際取引を行ったときに課税がどうなるかを検討できると、法律家として仕事をする上で大きな強みになります。そこでこの授業では、所得課税を中心にして、国際的な課税問題についてまとめた見通しを得ることを目標にします。制度の理論的基礎を講ずるのみならず、具体的な取引事例を素材とすることにより、問題発見やプランニングのための力を養います。				

Course Code	5121130	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際空間秩序と法				
Faculties	中谷 和弘				
Course Objectives/Overview	<p>演習「国際空間秩序と法」</p> <p>陸・海・空・宇宙を対象とするいわゆる領域論は、国際法の諸分野の中でも非常に重要な分野であり、国際法の解釈・適用の上でもまた外交政策・公共政策上も興味深い様々な素材を提供してきた。</p> <p>この授業では、海洋、国際航空、宇宙、領土をめぐる国際法上の諸課題について、実定国際法の解釈はもとより、明日のあるべき法(国際空間秩序)の提案も射程に入れつつ検討を行う。あわせて、第5の空間といわれるサイバー空間に関する国際法問題(特にサイバー攻撃の問題)についても検討してみたい。</p>				

Course Code	5121150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ法				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>東西冷戦の終結とともに、ヨーロッパ連合は、安全保障をも視野にいたった広い権限を持つ地域的国際組織として、今や国際経済のみならず国際政治においても大きな意義を持つ存在となった。</p> <p>また、ヨーロッパ統合の進展とともに、ヨーロッパ共同体法の重要性は、近年増加の一途をたどっており、特に、EU法の基礎的知識は、EU加盟国の国内法理解に際しても今や不可欠となっている。ヨーロッパ法が、いかにして国内法においても重要性を獲得するようになってきたのかは、国際レベルにおける法の支配の確立事例としても極めて興味深い問題である。</p> <p>近年のユーロ危機、移民危機、ポーランド・ハンガリーの権威主義体制化問題、更に2019年3月が期限となっているイギリスのEU脱</p>				

退(Brexit)等, 岐路に立つ欧州統合に関する話題には事欠かない. これらの「複合危機」を背景として, EUに関する報道は少なくないが, 残念ながら, 日本のマスコミ関係者でも, 現実のEUにおける制度設計, 法形成がどのようになされ, またどのように運用されているかにつき, 正確な理解を持つ者は多くない. 一方で, Brexitキャンペーンの際に, 「ブリュッセル」が諸悪の根源であって, ユーロないしEUから脱退しさえすれば, 全ての問題が解決するとの, 単純にして明快なポピュリストの主張が, しばしば報道されたことは記憶に新しい. ところが他方で, EUの運営がうまくいかないのは組織原理が「民主的」だからだという主張(塩野七生)もある. しかし, EUが常に「非民主的」だと非難され, 「ブリュッセル」だけが諸悪の根源だとする非難は本当に正しいのか, 正しいとした場合, 誰もが「民主的」だと認めるような制度は, どのようにすれば形成できるのか. それほどまでに「非民主的」な組織であるにも拘らず, なぜ加盟国は, イギリスの後を追って脱退し, あるいはEUを直ちに廃止しようとならないのか. 単に, 不満の矛先をEUに向けるだけで, ヨーロッパの全ての問題が解決できるのか, といった疑問が次々に浮ぶであろう.

一言で言えば, グローバル化の進展過程において, 古典的な主権国家の枠を超える「民主的」な国際組織をどのように設計すべきかという大きな問題としても, EUの制度・運用の研究は重要な意義を持つのである.

以上のように, EC/EU法は, 従来の古典的国際法とどのように異なるのか, 加盟国の国内法との間にどのような影響関係があるのか, 「民主的」な国際組織の設計はどのようなものであるべきかといった問題は, 学問的にも重要な理論的問題を提起している.

本講では, 上述のような近時の問題状況をも念頭に置きつつ, 現行法たるリスボン条約を中心に講義を行う予定である. EU法の対象分野は, 共同体管轄事項が拡張されてきた結果, 今や多岐にわたっているが, EU組織法の理解は, 個別のEU実体法理解のため不可欠の前提となる. 本講では, EU法の総論部分にあたる組織法, 具体的には, EUの機構, 法源, 争訟制度等について順次講じる予定である.

Course Code	5121160	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	比較法政策 1				
Faculties	海老原 明夫				
Course Objectives/Overview	ドイツ連邦共和国の現代法の概略を、憲法・民法を中心に講述する。ドイツ法は日本法にとって歴史的には一つの母法であるから、ドイツ法を知ることは日本法の基礎を知ることにつながるが、類似しているようでありながら、実は根本において日本法とは異なる要素も少なくない。とくにドイツ連邦共和国は、連邦制を採用していること、独自の憲法裁判権を有すること、ヨーロッパ規模での法の統合・発展に組み込まれていることなどから、日本法とは異種の展開を多く見せている。こうしたドイツ法の動態に、翻訳した資料を通じて				

	直接に触れることを通じて、日本法をより良く知り、また相対化するための視座を得させることを目指したい。
--	--

Course Code	5121202	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法2				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>ヨーロッパ統合の大きな特色は、「法による統合」であることである。特に、広義のヨーロッパ法(EU 法およびヨーロッパ人権法)の国内法に対する優越の結果、加盟国においては、国内法の「ヨーロッパ化」が近年顕著な現象となっており、ヨーロッパ法の影響を無視して加盟国の国内法のみを研究することは、もはや困難となってきた。特に、ヨーロッパ諸国の基本権保障については、EU 裁判所・ヨーロッパ人権裁判所と国内裁判所との協力が不可欠となっており、両者の間の「対話(dialogue)」ないし「ネットワーク」が今や重要化し、国内法も変容を遂げつつある。</p> <p>本演習では、執筆当時フランス憲法院の構成員であった公法学者 Nicole Belloubet の論文を教材として講読する予定である。同論文は、法秩序間関係に関する 1800 頁を超える論文集の中の 1 編であるが、「ガラパゴス化」が囁かれつつある日本の裁判所の現況とは全く異なる、近時のヨーロッパにおける「裁判官対話」の実情、国内裁判所活動の国際化、フランス公法変容の実態を垣間見せてくれるであろう。</p>				

Course Code	5121222	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	法社会学演習：マスメディアと法				
Faculties	FOOTE DANIEL HARRING				
Course Objectives/Overview	<p>本演習では、日本と米国を比較対象として、マスメディアと法の関係を探る。次のようなテーマを取り上げる予定である：新聞やテレビニュースの法律関係の話題の報道のしかた；法報道の社会に対するインパクト；テレビドラマ、映画、小説、漫画等のいわゆる大衆文化 (popular culture) における法現象の取り上げ方とその影響；裁判報道その他の法報道の制約；情報公開；報道機関の組織（記者クラブ等）とその影響等。日本と米国の判例、著書、論文等に加えて、新聞記事、テレビニュース、ドラマ、映画等の具体例を紹介し、議論する予定である。ゲストスピーカーを呼んでの議論も予定している。</p>				

Course Code	5121223	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Comparative Trusts Law				

Faculties	FISHER JAMES CLAYTON				
Course Objectives/Overview	Students will investigate the principles of trusts law in several key jurisdictions, cultivating a global, comparative insight into trusts as distinctive legal instruments. Students will learn the role of trusts in the economy and society, and critically evaluate the strengths, weaknesses and tensions in multiple kinds of trust structure from jurisprudential and practical perspectives.				

Course Code	5121224	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Making Legal Arguments: Legal Writing in Theory and Practice				
Faculties	FISHER JAMES CLAYTON				
Course Objectives/Overview	The course combines (1) legal-theoretical and jurisprudential enquiries into the nature of adjudication and legal reasoning (principally in English-speaking jurisdictions), and (2) practical training in the construction of valid and convincing legal arguments (including case analysis, legal research, and writing).				

Course Code	5121225	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	English Contract Law				
Faculties	FISHER JAMES CLAYTON				
Course Objectives/Overview	This course investigates the law of contract in common law jurisdictions, with a particular focus on the law of England. Students will learn to think critically about issues of contract law theory and practice. We consider the differences (real or imagined) between common law contracts and the contract law of Civilian jurisdictions, and assess the strengths and shortcomings of the English law position. Using untranslated primary sources (principally case law from the courts of England & Wales), students come to understand the common law of contract, its history and its continuing development.				

Course Code	5121226	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	English Contract Law				
Faculties	FISHER JAMES CLAYTON				
Course Objectives/Overview	This course investigates the law of contract in common law jurisdictions, with a particular focus on the law of England. Students will learn to think critically about issues of contract law theory and practice. We consider the differences (real or imagined) between common law contracts and the contract law of Civilian jurisdictions, and assess the strengths and shortcomings of the English law position. Using untranslated primary sources (principally case law from the courts of England & Wales), students come to understand the common law of contract, its history and its continuing development.				

Course Code	5121227	Term	S1S2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	国家と法の基本問題				
Faculties	石川 健治				
Course Objectives/Overview	戦後日本の最高裁判例のうち、読み応えのあるものを選んで、判例の読み方を訓練することを目的とする。				

Course Code	5121271	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融商品取引法				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	日本における資本市場法制の中核をなす金融商品取引法の概要を解説する。法規制の技術的側面に過度に目を奪われることなく、基本的な構造と制度の背景となっている考え方を把握することを目指す。資本市場をめぐる時事的な話題も取り上げ、現実の市場のダイナミズムを感じ取れるような講義にしたい。				

Course Code	5121272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	上級金融商品取引法				
Faculties	松尾 直彦				
Course Objectives/Overview	S セメスターの授業を通じて金融商品取引法の基礎を理解していることを前提として、それをさらに深め、幅広い視野のもとで実務的問題解決能力を高める観点から、①判例や行政事例などを素材として、②法律のみならず、政令・内閣府令、当局のQ&Aや自主規制機関の自主ルールなどの内容についても習得し、③できるだけ実務的な取扱いについて検討する。内容としては、上場会社法制の部分を中心とするが、その時々の特ピックスとなっている事項を取り上げ、またゲスト・スピーカーを呼ぶこともあり得るので、以下の構成は変更されることがある。				

Course Code	5121300	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	金融法				
Faculties	神作 裕之／加藤 貴仁				
Course Objectives/Overview	この講義では、金融実務に詳しい実務家をゲストとして招いて実務の現状や実際に生起している問題点などを具体的に話してもらい、それに基づいて理論的な分析や展望などを試みる。				

Course Code	5121380	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	法医学				

Faculties	岩瀬 博太郎				
Course Objectives/Overview	法医学とは法が適正に執行されるべく医学的な助言を行うための学問である。すなわち、国民の安全や権利を守るための医学といえる。法医学は死因究明のほか、虐待を受けた小児等の保護も業務として実施しているが、本講義ではそうした法医学の目的や業務を理解することを目的としている。				

Course Code	5121394	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Perspectives on Law : Japanese Law as Viewed from Abroad				
Faculties	FOOTE DANIEL HARRING				
Course Objectives/Overview	<p>For over a century, Western scholars have pursued scholarship on Japanese law. Foreign scholars have produced many excellent works exploring various fields of Japanese law, frequently approaching subjects from perspectives other than those commonly found within Japan. In this course, we will read and discuss leading works on Japanese law written by foreign scholars. The readings will include works from various perspectives, including sociological, historical, economic, and practice-related perspectives. For a few class sessions, depending on availability, foreign scholars will be invited as guest speakers.</p> <p>NOTE: This class will be conducted entirely in English. Heavy emphasis will be placed on class discussion.</p>				

Course Code	5121422	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	アメリカ民事訴訟法判例研究				
Faculties	浅香 吉幹				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカ民事訴訟法の判例（もちろん英文）を読む。アメリカの法の実現過程について、時系列に沿って学んでいく。アメリカ民事訴訟法はアメリカのロー・スクールでは1年生科目として、法学への導入としての役割も担っていて、連邦制や陪審といった英米法総論で学んだ諸問題もより具体的に検討することになる。</p>				

Course Code	5121433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	証券市場法演習				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	<p>金融商品取引法に関する基本的な諸問題について、海外の法制との比較を踏まえつつ、法の考え方を学ぶとともに、実務的な論点について検討する。</p>				

Course Code	5121436	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	国際商事仲裁
Faculties	唐津 恵一
Course Objectives/Overview	<p>企業活動のグローバル化に伴い、国際商取引紛争は増大している。国際商取引に関する紛争解決方法として、国際商事仲裁が定着してきており、日本企業が当事者となる国際商事仲裁事件数も増えてきている。本講義においては、序盤に仲裁制度の基礎知識を習得したうえで、国際商事仲裁に関する理論的な枠組みを理解し、中終盤では国際商事仲裁の各論点につき、実務的な観点から、理解を深める。序盤は日本人教員が中心となり日本語で行うが、中終盤は国際商事仲裁に精通した外国人実務家が英語により行う。</p>

Course Code	5121437	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際投資法研究				
Faculties	中川 淳司				
Course Objectives/Overview	<p>国際投資法は 3000 を超える国際投資協定(二国間投資条約(BIT)と自由貿易協定(FTA)の投資章)と投資紛争仲裁(投資家対国家の紛争解決(ISDS))の仲裁判断例の集積を通じて発展してきた。投資保護に主眼を置く国際投資協定の時代(~1980 年代末)、投資紛争仲裁を通じた投資保護の拡大の時代(1990 年代~2000 年代)を経て、近年は投資保護と受入国の規制権限の調整ないしリバランスが求められている。国際投資法の発展を跡付けるとともに、投資保護と受入国の規制権限の調整ないしリバランスがいかに図られるかを考察し、国際投資法の今後について洞察する。</p>				

Course Code	5121450	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	企業法務				
Faculties	唐津 恵一				
Course Objectives/Overview	<p>上場企業における法務部門が担うべき機能を把握することが目的である。上場企業経営における資本市場との関りを理解したうえで、利害関係者が多岐にわたり、多くの法律が関係するプロジェクトであるM&Aを題材に、現実動いている実例の分析や、仮設のプロジェクトでのビジネスプランニング・交渉・契約締結に至るプロセスを体験的に踏襲する。初めの数回は、企業法務一般論、企業価値論、M&Aプロジェクトのプロセス等、担当教員の講義により進める。M&Aに必要な法律・会計・税務等の基本知識は、各参加者が分担して調査・報告して、共通の知見を把握する。終盤には、企業経営者、企業法務担当者、弁護士、会計士、税理士等のゲストを招きご講話していただく。</p>				

Course Code	5121451	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	アジアビジネスと企業法務				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルに事業展開する上で必須の機能である「国際企業法務」を、主に中国（香港を含む）をテーマとして概観する。ビジネスの法的イシュー・リスクを発見し、最適解を導き出すことにより、その持続的な成功を法的に担保するという、所謂「リーガルリスク・マネジメント」（これは企業法務部門のコアスキルである）の素養を身に着けることが目的である。</p> <p>将来、企業の法務部門や事業部門で、アジア関係業務を中心に専門性を活かして活躍したい参加者を想定しているが、中国・香港そのものに関心を持つ参加者も歓迎する。</p> <p>貿易取引やジョイントベンチャー等の事例を用いながら、①企業法務とは何か、②法的発展途上国の一つである中国と、返還後もCommon Law 体系を維持する香港の、夫々のリーガルシステムやビジネス関連法制度、③国際取引契約の法的課題や実務への理解を深める。適宜実務界からゲスト参加者を招く予定であるほか、企業法務部を訪問し実務の一端に触れる機会も持つ予定である。</p>				

Course Code	5121452	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	アジアビジネス法と企業法務				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルに事業展開する上で必須の機能である「国際企業法務」を、アジア（中国・香港及びいくつかのASEAN 主要国を取り上げる予定）をテーマとして概観する。事業の法的イシュー・リスクを発見し、最適解を導き出すことにより、その持続的な成功を法的に担保するという、所謂「リーガルリスク・マネジメント」（これはビジネスパーソンのコアスキルである）の素養を身に着けることが目的である。将来、企業の法務部門や事業部門で、アジア関係業務を中心に専門性を活かして活躍したい参加者を想定しているが、アジアに関心を持つ参加者も可能な限り歓迎する。</p>				

Course Code	5121454	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際ビジネス法				
Faculties	唐津 恵一／平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルにビジネス展開を行うにあたっては、様々な法分野にまたがる国際的な法知識を有するとともに、これを駆使していかに企業価値を最大化するかというビジネスセンスを有し、かつ言語を含めた国際的素養を有する法務人材が求められる。本授業はこのような人材育成を念頭に、外国人ゲストスピーカーも含めた複数</p>				

	<p>の実務経験者が教員となり、実例を中心に、ビジネスのさまざまな局面における法的問題を概観する。</p> <p>Nowadays, companies developing their businesses globally need legal experts, who have knowledge of various areas of international law, good business sense for utilizing such knowledge to maximize corporate value and broad exposure to international matters including knowledge of foreign languages. This course will seek to develop student awareness and knowledge of the foregoing human resource imperatives by examining legal issues that arise in various business situations by introducing cases. Lectures will be conducted by instructors, including foreign guest lecturers, who have experience in this field.</p>
--	--

Course Code	5121461	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Society in East Asia				
Faculties	MATSUBARA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar aims to discuss the social / historical bases on which a modern legal system might operate in various East Asian societies, and to provide an introduction to some of those problems involving the integration of different legal traditions into a pluralistic yet coherent legal regime. We will focus on the tensions experienced by these societies, involving the importation of what were presented as "universal" values and norms, and the near-universal resistance to these values and norms, such resistance being based on the notions of custom and tradition. While the initial focus will be mainly on the experiences concerning the formation of legal institutions in China and Japan, students will be encouraged to bring in perspectives from other societies as well. The problems discussed will include: the difficulties regarding what exactly can be identified as East Asian legal traditions; how legal regimes were structured through the actions of actors exploiting the plurality of legal traditions; and how the relationship between legal arrangements and the political power-structure played out. Particular attention will also be paid to the issues of colonialism, and the uneasy relationship between Modernisation, Westernisation and Colonisation in these societies. The ability to read source materials written in Chinese and/or Japanese would be of much help, but will not be essential.</p>				

Course Code	5121470	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法の基本問題				
Faculties	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	<p>国際社会における法への現代的要請の変化に応じて、「法源」論と呼ばれてきた領域は、「法源」という視座が適切かを含めて常に新たな見直しが迫られている。例えば、国際法委員会も、現在、慣習国際法や強行規範、事後の合意・実行など、かつて条約法条約（1969年）として結実した成果を見直す作業に注力している。</p> <p>本ゼミでは、近時の主要な国際法の作品における「法源」論の部分を対照しつつ購読する。また、国際法委員会の現在の作業についても検討する予定である。なお、教材は全て英文である。</p>				

Course Code	5121475	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際社会における法の支配—国際刑事裁判の現場から				
Faculties	野口 元郎				
Course Objectives/Overview	<p>担当教員は現在、最高検察庁検事兼国際刑事裁判所（International Criminal Court: ICC）の被害者信託基金理事長(Chair of the Board of Directors, Trust Fund for Victims, 2012-)であり、カンボジア特別法廷（Extraordinary Chambers in the Courts of Cambodia: ECCC or Khmer Rouge Trials）では上級審の国連判事(United Nations International Judge, Supreme Court Chamber, 2006-2012)を務めた。</p> <p>このクラスでは、ジェノサイド、人道に対する犯罪など最も重大かつ大規模な国際犯罪を裁く特別な仕組みである国際刑事裁判及びその周辺分野について、現場の実務家の視点から、現実の事例に含まれる理論上、実務上、外交上の問題点を提供する。履修者は、国際社会共通のインフラである国際刑事裁判の歴史的背景、特徴、直面する課題などを多面的に検討することを通じて、国際社会における法の支配の理論と実践についての理解を深め、応用の利く政策的視野を養うことを目的とする。</p>				

Course Code	5121490	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際法実務演習				
Faculties	三上 正裕、濱本 幸也				
Course Objectives/Overview	<p>外交における国際法の役割につき、具体的な事例・問題に則し、実務家の視点を踏まえて理解する。各回毎に講師が具体的な事例・問題を設定して関連する国際法上の論点を提起するので、参加者は提起された国際法上の論点について各自の考えを整理し積極的に議論に参加する。</p>				

Course Code	5121495	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	技術利用と法				
Faculties	佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>この授業では、技術利用のために情報がどのように使われるのか、製品やサービスが世に生み出されるまでにどのようなプロセスで、どのような法制度が機能しているのかを学び、イノベーションを生み出しやすいプロセスや法制度のあるべき姿を検討する。そのため、この授業はさまざまな法律分野を横断的に学ぶと同時に、イノベーションを創出するために「法」を道具として使うという思考も養う。</p> <p>法学の基礎を理解している学生にとっては、研究や実務に有益なリーガルリサーチスキルを提供する。</p>				

Course Code	5121496	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Public International Law and Domestic Implementation				
Faculties	BARNSELEY Ingrid				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with an overview of the politics, rules and institutions of public international law, and its implementation in practice. The course does not require students to have prior knowledge of the study of law. After a general introduction to the history and contours of international law, students will explore several in-depth case studies of 'real world' issues, the international laws and institutions developed to address them, and the operation of those regimes in practice. In exploring these case studies, particular emphasis will be placed on the practical implementation of international laws, on comparing differing approaches to such implementation, and on the comparative successes and limitations of the international legal response to fundamental issues of global concern such as the use of force, regulation of the seas, climate change, trade, human rights and the war on terror.</p>				

Course Code	5121500	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際海洋法制度概論				
Faculties	西村 弓／西元 宏治／西本 健太郎				
Course Objectives/Overview	<p>海洋にかかわる国際法上の問題は、日本の対外関係および国際法実務において重要なものとなっている。そこで、本授業では、海洋にかかわる国際法制度の全体的な枠組について理解を深めることを目的とする。その検討のための具体例として、東シナ海のガス田開発問題、ソマリア沖海賊問題、資源探査や科学調査を含めた海洋調査規制など、近年、日本との関連で実際に懸案となっている諸事象をとりあげて考察する予定である。</p> <p>担当者によるリレー講義の形式で進めるが、トピックに応じて、外交実務家等をゲストスピーカーとして招聘することを予定している。また、質疑応答を通じて、多様な参加者とのディスカッションを取り入れる。学際海洋教育プログラム科目の一つである。</p> <p>文献は随時指定し、必要に応じてプリントを配布する。海洋法に関する条約・国内法を収録した冊子を配布する。</p>				

Course Code	5121510	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	コーポレートガバナンス				
Faculties	林 良造／中原 裕彦／佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>わが国では、90年代後半のバブル崩壊・不良債権処理の遅れの顕在化以降、会社法・金融商品取引法・会計規則・税法などの諸制度の改正が進み、株式所有形態の変化などと相まって企業経営の監視は格段に充実された。また、近年では成長戦略の一環としてコーポレ</p>				

	<p>ートガバナンスに関する関心が高まっている。昨年には「機関投資家対話を通じて企業の中長期的な成長を促すなど、受託者責任を果たすため」として『責任ある機関投資家』の諸原則(日本版ステュワードシップ・コード)が実施され、さらに今年には「会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため」として「コーポレートガバナンス・コード」が実施に移された。</p> <p>この授業では、我が国のコーポレートガバナンス制度が直面している課題及び適切な制度構築に向けた論点を検討するとともに、実際のコーポレートガバナンスの現場や各国のガバナンス制度の違いを把握することから、さらなる制度設計に向けた視座を得る。</p>
--	---

Course Code	5122011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	市民社会組織・政策論				
Faculties	田中 弥生				
Course Objectives/Overview	<p>本講義の目的は2つある。第1にNPOやNGOなど市民社会組織の理論と現状を学び、関連の制度および政策を分析することである。第2は、新たな試みで、非営利組織の評価論の基礎を集中的に学ぶことである。</p> <p>市民社会組織が、政策的課題として本格的に取り上げられるようになったのは東西冷戦終焉直後からである。だが、主たる期待は社会サービスの補填機能であった。昨今、ポピュリズムや民主主義の危機が取りざたされる中で、大きな緊張感が生じている。こうした中で市民社会は正にも負にも作用する。そこで、ナチスなど歴史の変遷にも着目しながら、市民社会とその中軸を担う非営利組織について考察する。</p> <p>また、非営利組織への官民資金の投入量が増す中、評価によって説明責任を果たすことが求められるようになっている。だが評価技法に振り回されがちである。そこで基礎となる考え方や思考から評価論を学ぶ必要がある。なお、これらの知識や技術は政府評価と共有するもので、政策評価にも適用可能である。</p> <p>【内容】以下のような内容を網羅する予定である。詳細は詳細版を参照のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イントロダクション：日本社会の持続性と非営利組織 ・社会統治と市民社会 ～ドラッカーとナチスとボランティア～ ・民主主義の構造 ～民主主義の課題に挑むNPO～ ・市民社会組織運営：経営論 ・市民社会政策の分析Ⅰ：資源提供者と非営利組織の仲介機能の設計 ・市民社会政策の分析Ⅱ：官から民へ、構造改革とNPO政策 ・評価論「変化とは何か 進捗と効果を科学する～ ・評価論「目的とは何か 課題分析、目的分析、指標設定」 				

Course Code	5122035	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	政府間関係論
Faculties	金井 利之
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、自治体行政学を受けて、現代日本の自治体行政を、複数の政府間の関係からなるシステムである点に着目して、実際の制度と運用に即して概観することを目的とする。しかし、行政学の一分野としての側面を重視する観点から、現代日本の行政全般に関しても注意を払う。</p> <p>進め方は、日本及び他の先進諸国の政府間関係・地方自治・都市行政および行政一般に関する基礎的文献を素材として、指定された文献を事前に読んでくることを前提に、担当学生による報告と、解説の講義と、参加者間の討論を進めることとする。</p> <p>その意味で、実質的には演習形式を想定している。</p>

Course Code	5122070	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 A (現代中国の政治)				
Faculties	高原 明生				
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、建国以来、今日にいたるまでの中華人民共和国の政治と外交を主な対象とする。実質的な一党独裁を続ける中国共産党の思想、組織、政策、行動様式などが、如何に変化してきたか、あるいは変化しないままできたか、ということが中心問題である。当然ながら、その変化は国際環境の影響を受けている。</p> <p>日本やアジアのみならず、世界にとって、中国の重要性がさまざまな意味でますます大きくなることは間違いない。中国に関して、しっかりとした根拠に基づき、理性的に議論することが肝要であるが、中国政治は複雑かつはなはだ不透明である。それについて学び、理解することは難しいが、面白い。</p>				

Course Code	5122083	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代朝鮮半島の政治)				
Faculties	木宮 正史				
Course Objectives/Overview	<p>① 韓国 (朝鮮半島) の現代史に関する理解を深める。</p> <p>② 韓国 (朝鮮半島) の政治・経済・国際関係に関する分析を通して、政治学、国際政治学の理論に関する理解を深める。</p>				

Course Code	5122084	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代ラテンアメリカの政治)				
Faculties	大串 和雄				
Course	ラテンアメリカ諸国の独立以降の政治を、経済・社会変動の文脈の				

Objectives/Overview	中で理解することを目的とする。時期的には 20 世紀以降に重点を置く。
---------------------	-------------------------------------

Course Code	5122085	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代アフリカの政治)				
Faculties	遠藤 貢				
Course Objectives/Overview	国際社会の中において、(主に独立後の) アフリカ諸国が抱えてきた諸問題を俯瞰するための多角的な視点を提供する講義等を行う。アフリカ諸国の国家や政治体制、政治変動の特徴、政治経済の論理と援助の潮流、国際関係における位置の変容、あるいはグローバル化との関わり、多発する紛争とその変容、並びに「紛争後」の諸課題などの問題を検討する。また、これらの作業を通じて比較政治学、ならびに国際政治学の理論に提起されてくる諸問題について考察を加えるほか、政策的課題についても検討を加える。授業では、講義のほかに、より立体的な理解を深めるために、アフリカに関する様々なビデオ鑑賞を行い、感想レポート提出を求める。				

Course Code	5122092	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C(現代アメリカの政治)				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	アメリカの政治制度の概説を行った後、政治過程および政策決定過程の特徴に及び、いくつかの政治的争点について各論的に触れた後、政治文化ないし政治思想的側面から考察を行う。理論的な考察と地域研究的な分析、そして比較論的な視座を交えながら議論を進めていきたい。アメリカ政治の特質を探りつつ、また最近の研究動向にも配慮しつつ、同時に近年の政治変動やトランプ当選の背景、トランプ政権の現状などについても適宜言及したい。 日本政治との比較も意識しながら講義を展開し、同時にアメリカ政治を説明するためにアメリカ人政治学者によって開発された理論や学説も適宜紹介する。英文資料も使用する。				

Course Code	5122097	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C (現代アメリカ政治特殊研究)				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	フランクリン・D・ローズヴェルト大統領関係の資料を中心に、ニューディール期から第二次世界大戦終結時頃までにいたる時期の一次資料を講読する。				

Course Code	5122111	Term	通年	Credits	4
Course Title	自治体行政聴査				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本演習では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p> <p>本年度も昨年度に引き続き、川口市の子ども政策を採り上げる。6年度前の国民健康保険、5年度前の介護保険、4年度前の障害福祉、3年度前および2年度前の生活保護に加え、都市自治体にとっての基盤になっている社会保障分野である子ども政策の領域が、行政実務的には、実際に、どのようになされているのかにつき、知見を深めることとする。但し、子ども政策は旧来の児童福祉に収まるものではなく、新たに生成しつつある政策領域でもある。そのようなダイナミクスが自治体現場でどのように受け止められているかも、今年度のテーマである。</p> <p>ここ9カ年ほど、川口市に関しては総合計画・行政管理・合併・国民健康保険・介護保険・障害福祉を題材として採り上げたところであるが、その延長線上にある。</p>				

Course Code	5122135	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	New Dimensions of Security in the Risk Age				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>This module allows students to examine the security dimensions of living in what sociologists have termed a 'World Risk Society'. It highlights the new nature of vulnerability in an era of contested and often risky science, as well as the impact of globalization on how we conceptualise and think about security. The module shows how key stakeholders such as industry, media, governments and politicians have to play crucial roles in not only shaping responses to these perceived risks, but also how to appropriately manage them. Students will first be introduced to dilemmas and challenges that security risks pose for policy makers in the post-Cold War era from Kosovo, the 9/11 terror attacks, to Iraq and Syria. Concepts such as Security Paradigm Shifts, Omission versus Commission; the Risk Calculus, and Precautionary Principle will be discussed. They then analyse a range of global risks such as terrorism, cyber-attacks, pandemics and climate change that threaten global critical infrastructure in domains such as aviation, financial, IT, and maritime networks and space communications. Policy responses and governing by risk are finally surveyed, from data trawling, biometrics and risk profiling to crowd sourcing and horizon scanning</p>				

Course Code	5122137	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Ethics and International Relations				
Faculties	ORSI Roberto				

Course Objectives/Overview	This course provides an overview of the various approaches to decision-making in international politics from an ethical perspective. It introduces several models of ethical thinking and compares them to different understandings of the nature and functioning of international politics, making extensive use of examples. Previous attendance of the Introduction to International Politics course is an advantage.				
----------------------------	--	--	--	--	--

Course Code	5122138	Term	S 2	Credits	2
Course Title	The Management and Governance of Innovation: Insights from the US				
Faculties	LECUYER Christophe				
Course Objectives/Overview	This course introduces students to the management and governance of innovation in the United States. It surveys the innovation regimes that guided the development, commercialization, and deployment of new technologies since the beginning of the twentieth century. The second part of the course examines how these managerial and policy frameworks nurtured and sustained the rise of innovative clusters in electronics, computing, and biotechnology. Special attention is devoted to Silicon Valley, Route 128, and the high-tech district located around San Diego.				

Course Code	5122140	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治経済の諸問題				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	本演習は国際政治と国際経済の接点にある各種の問題について実証的に研究することを目的とする。いわゆる国際政治経済論（IPE）は従来から、政治と経済の複雑に絡む問題についてはほとんどすべてとわいていいほど網羅的にカバーしている。本演習もその多様性を反映して、国際貿易や国際金融だけでなく幅広い題材を扱う。				

Course Code	5122156	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治特殊研究				
Faculties	藤原 帰一				
Course Objectives/Overview	国際危機を前にした各国政府のとり政策の中で、経済制裁は武力行使よりも採用されることがはるかに多い対外政策である。ところが、現実にとられることが多いにもかかわらず、経済制裁の政策としての有効性に関する研究者の判断は一般に厳しいものであった。それでは経済制裁は役に立たないのか。その多様な形態、さらに態様の変化に留意しつつ、経済制裁について考察を行うことがこの演習の目的である。なお、この演習はリサーチ・セミナーであり、学習・研究の結果をゼミ論文として提出することを求めている。				

Course Code	5122157	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Conflict Prevention and Post-Conflict Politics				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	<p>What is an international conflict? Will it be possible to discuss the origins of international conflicts in more general and abstract ways, or would it be the case that each conflicts are so distinct in nature that rule out theoretical abstraction? Those are the basic topics that I aim to cover in this course.</p> <p>International conflicts encompass a wide terrain; here I will focus on what has come to be called the new kind of wars, those in which cultural symbols and identity play out in the development of violent conflicts, as opposed to the more traditional kind of warfare based on the acquisition of secular interests.</p>				

Course Code	5122158	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Insurgency and Counterinsurgency				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar provides students with a basic understanding of a range of academic and policy issues related to what are frequently called “small wars”, or insurgency and counter-insurgency. The seminar introduces theoretical and empirical approaches to the study of insurgency and counterinsurgency, with a particular focus on historical changes in conceptual frameworks for understanding the phenomena of insurgency, and on how policy and strategic responses have been shaped by such conceptualization. The concept of warfare itself is examined.</p> <p>Seminar Objective: On completion of the seminar, students are expected to demonstrate:</p> <ul style="list-style-type: none"> a) In-depth understanding of the concepts of insurgency and counterinsurgency. b) In-depth knowledge of history of insurgency and counterinsurgency in the 20th and 21st centuries. c) Ability to appraise competing theories and interpretations of the origin, concept and dynamics of insurgency, and effectiveness of counterinsurgency. d) Ability to engage in policy debates concerning contemporary operations such as Iraq and Afghanistan. e) Ability to use analytical skills and present independent research on topics in this area. 				

Course Code	5122159	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Transformation of Warfare and Technology				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>There have developed quite separate debates concerning, on the one hand, the Transformation of Warfare, and Revolution in Military Affairs on the other. Conventional knowledge is that while the former approach encompasses a vast range of scholarly analysis on how war in the contemporary era might have transformed in all spheres of economy, politics and society, the latter has focused on the impact of technological advancement in a narrower sense on warfare, especially the way in which warfare has been conducted or ought to be conducted.</p>				

	<p>However, to discuss changes in the character of war in these quite distinct spheres, each with specific preoccupations with no interactions, is not very conducive to a meaningful generalization about the transformation of warfare itself.</p> <p>The purpose of this seminar is to consider the impact of modern and contemporary technological changes, especially focusing on communication and media spheres, on the character and conduct of warfare today, hence bridging the two distinct spheres of interests.</p>
--	--

Course Code	5122170	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	西欧比較政治論				
Faculties	中山 洋平				
Course Objectives/Overview	西ヨーロッパ諸国における 19 世紀末の大衆組織化のパターンを比較分析し、各国・地域の以後の政治発展にどのような中長期的影響を及ぼしたかを多面的に検討する。				

Course Code	5122201-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Diplomacy				
Faculties	TAKAHARA Akio				
Course Objectives/Overview	This course looks into the diplomacy of the People's Republic of China. It discusses the development of Chinese diplomacy from the days of Mao Zedong and Zhou Enlai to the current period. Important questions to be tackled include the policy process, especially the linkage between internal politics and external policy.				

Course Code	5122203	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	比較政治学・政党と制度				
Faculties	MCELWAIN Kenneth Mori				
Course Objectives/Overview	<p>This course introduces graduate students to the comparative politics literature on political parties and institutions. Political parties exist in every democracy and many autocracies, although their roles as electoral and legislative institutions vary, especially in terms of ideological range and cohesiveness. This begs the question, why do we have political parties? How do parties represent ideological cleavages in society? How does the electoral system and other political institutions influence party behavior and success?</p> <p>The target audience of this course is students who wish to learn the academic literature and conduct original research on political parties and elections. The syllabus will cover both the classics and new work, emphasizing theoretical and empirical innovations to the literature. There will be less emphasis on learning about specific parties or countries. Familiarity with statistics / econometrics is strongly recommended, although we will explore both quantitative and qualitative readings.</p>				

Course Code	5122206	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Relations and Political Regimes				
Faculties	HIWATARI Nobuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>Increasingly, it has become impossible to discuss international economic or security policies without referring to international institutions and domestic political regimes. This reflects ongoing developments seen since the 1990s. Domestically, the world has witnessed the spread of democratization and market-oriented reforms. Such trends appeared in tandem with structural changes at the international level: they are manifested by an explosion in the numbers of investment treaties, free trade agreements, and financial agreements; the deepening of security cooperation among allies; and the increased presence of international organizations (such as the WTO, the IMF, the BIS, the OECD, and the EU).</p> <p>The occurrences are closely interrelated: the developments in international economic relations are related to countries adopting market-oriented economic reforms to promote growth under the auspices of international economic organizations. Similarly, security cooperation tend to strengthen among likeminded regimes based on trust generated by negotiating and entering sophisticated economic agreements. Herein lies the need to understand domestic regimes and international institutions in order to understand current structural changes in international politics.</p> <p>The course is designed to introduce the analytical frameworks necessary to understand recent actual and theoretical developments, in particular the role of domestic regimes and international institutions in international relations. It addresses topics such as: (a) why dictatorships follow democracies and promote economic reforms that often lead democratization (b), how domestic economic reforms are intertwined with new international economic agreements and the institutionalization/legalization of international economic organizations, (c) how the deepening of economic relations help the strengthening of security ties among likeminded regimes.</p>				

Course Code	5122211	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	発展途上国の政治				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	発展途上国の国内政治に関連する基本的概念と理論を習得し、発展途上国の政治の構造と力学を広い意味で理論的に理解する。また、政治における暴力の問題を分析する。				

Course Code	5122215	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	先進国の比較政治				
Faculties	小川 有美				
Course Objectives/Overview	「政治学と歴史が会おう」歴史政治学の視点を通し、ヨーロッパの歴史的経験から EU 統合・グローバル化への対応までを分析的に理解し、比較政治学の重要な概念や学問的思考を修得する。				

Course Code	5122226	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Cross-Strait Relations				
Faculties	MATSUDA Yasuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>The aim of this seminar is to introduce and analyze the political history of Taiwan and the Cross-Strait relations, or relations across the Taiwan Strait. It will seek to identify core issues on Taiwan and the Cross-Strait relations from dimensions of history, politics, economy, international relations and regional security. The main requirement for this seminar is a research presentation on a topic to be agreed upon in consultation with the instructor. All the students who are interested in politics and international relations in East Asia are welcome.</p> <p>Grades will be determined according to each student's general class participation, performance of presentation, and term paper. Lecture, presentation, discussion, and writing term paper will be done in English.</p>				

Course Code	5122236	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Politics in East Asia				
Faculties	SAHASHI Ryo				
Course Objectives/Overview	<p>This course does not focus on a particular nation's foreign policy. Rather, we examine the impacts of both the rise of Asia, regionalism and American commitment on the order in East Asia. Behaviors of not only great powers but small and middle powers are to be analyzed.</p>				

Course Code	5122241	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Asia-Pacific Security				
Faculties	WILKINS Thomas				
Course Objectives/Overview	<p>This course examines security issues in the Asia-Pacific region, largely from a thematic perspectives, but informed by IR theories and concepts as well. It evaluates the changing Asia-Pacific security order, and the rise new great powers against the decline of American hegemony, and asks what role Japan can play in this new order. It then proceeds to investigate a range of current and emerging security challenges such as maritime security and non-traditional security threats. It concludes by looking at 'solutions' to insecurity in the region, such as multilateralism and an emphasis on the concept of 'human security'</p>				

Course Code	5122255	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	社会安全政策論				
Faculties	北村 博文				
Course Objectives/Overview	<p>日本の治安情勢は、この 15 年間で戦後最悪の状況から、かつてない良好な状況へと劇的に改善した。その改善と社会安全政策論の展開</p>				

	<p>は軌を一にしている。社会安全政策論を学ぶことにより、治安の劇的改善の背景を理論的に理解することができ、さらには個人が直面するであろうリスクや行政課題に適切に対応するための鍵を得ることができる。</p> <p>本講では、社会の安全確保に携わる実務家の観点から、犯罪学の成果を援用しつつ、社会安全を測るための指標、社会安全を左右する要因の抽出を行い、その改善のための施策・対策を、施策等の対象・主体・手法に分けて検討し、さらに政策実施に伴う社会・個人のコスト、相反する権利・自由間の調整等を個別施策にあてはめつつ評価する。</p> <p>このことを通じ、履修者が、安全に限らず、社会における様々な問題を把握し、分析し、その解決策を提示する能力を涵養するとともに、将来の我が国社会が直面する課題と対応策を探ることを目標とする。</p>
--	---

Course Code	5122261	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Public Management				
Faculties	KUDO Hiroko				
Course Objectives/Overview	<p>The course has five major topics, which are the goals as well;</p> <p>1) To understand the basic theories and concepts of public management. In this regards, evolution from traditional public administration theories and practice to public management, and then toward public governance would be illustrated, analysed and discussed.</p> <p>2) To understand the issues and challenges of public management. Especially financial crisis, austerity measures, and ageing society would be discussed.</p> <p>3) To understand the major techniques of public management through cases and acquire the ability to apply them to solve problems. Exercises would be provided to improve the problem-solving capacity of the participants.</p> <p>4) To understand the Japanese public management in international context. Since this course is offered in Japan, special attention will be paid at its characteristics and uniqueness from comparative point of view.</p> <p>5) To understand the issues and challenges of Japanese public management. Major issues in recent years would be explored and discussed.</p> <p>The course would be divided in five parts according the topics above mentioned. In each section, course participants will be provided a pack of reading materials, which would be discussed after the introductory lecture of the instructor. The course uses flipped classroom arrangement and stress is given on discussions during the class. Participants are asked to find cases (Japanese or those of their countries of origin) to be examined and be presented during the course. Selected cases would be discussed at the end of the course. Term paper should be on the cases.</p>				

Course Code	5122285	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ラテンアメリカ発の比較政治学				
Faculties	大串 和雄				

Course Objectives/Overview	<p>ラテンアメリカはヨーロッパに次いで比較政治学の材料を最も提供してきた地域であると言ってよいであろう。またラテンアメリカの大学で 1970 年代以降に社会科学が定着するにつれて、ラテンアメリカ出身の研究者が欧米の比較政治学に影響を与えることも多くなっていった。なかでもアルゼンチン出身のギジェルモ・オドネル (Guillermo O'Donnell) は、欧米の比較政治学に最も影響を与えたラテンアメリカ出身の研究者の一人である。彼が提唱した「官僚型権威主義体制 (B-A 体制)」、「委任型民主主義 (Delegative Democracy)」などの概念は広く知られてるし、彼が共著者である <i>Transitions from Authoritarian Rule</i> は民主化論の古典として知られている。</p> <p>本演習は、オドネルが足跡を残した民主主義の質、民主化などの問題について、彼の業績を手がかりとして考察を深めることを目的としている。使用するテキストはオドネルにゆかりのある者が寄稿しているが、単にオドネルの業績を紹介するにとどまらず、オドネルの議論をさらに進める最先端の研究も含まれる内容になっている。</p>
----------------------------	---

Course Code	5122293	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	虐殺とジェノサイドのメカニズム				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	ジェノサイドを含む大量殺りくはいかなる要因で発生するのか。それはどのようなプロセスを経て、どのような力学で展開するのか。人はいかに殺りく者となるのか。大量殺りくを多角的に分析して高い評価を得たテキストを通じて、これらの問題について思考を深めることを目的とする。				

Course Code	5122370	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治文献講読				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	最近出版された日本政治に関する研究書を講読し、研究者または関連する専門職として必要な研究能力の修得を目指します。				

Course Code	5122375	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Quantitative Social Science				
Faculties	IMAI Kousuke				
Course Objectives/Overview	This is a first course in applied statistics for social scientists. We begin by studying the fundamental principles of statistical inference. Students then learn a variety of basic statistical methods including linear regression, instrumental variables, and maximum likelihood estimators. Throughout the course, we emphasize the connections between these methods and causal inference.				

Course Code	5122384	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	宇宙開発と公共政策				
Faculties	水野 素子／城山 英明／中須賀 真一／菊地 耕一				
Course Objectives/Overview	<p>2008年の宇宙基本法により宇宙開発の目的として、従来の科学技術に加えて、安全保障面を含む安全安心、産業振興・国際競争力、国際協力・外交等、宇宙開発の新たな目的が明確化された。これを受けて内閣総理大臣を本部長とする宇宙開発戦略本部が設置されるなど行政機構が刷新され、宇宙機関(JAXA)の位置づけも変化している。</p> <p>宇宙開発は近年、社会のツールとしての意義が強まり、多様なステークホルダーが複雑に絡む、大規模かつ国際的な側面の強い公共事業となっている。そのガバナンスや、様々な具体的課題に関する法政策は、原子力・電力、海洋、鉄道等の他の科学技術分野の公共事業と類似する部分もあるが、独自の発展を遂げた面もある。</p> <p>本講座では、国内外の実務家・専門家による学際的な講義により宇宙開発利用の最新動向を総合的に理解するとともに、特定の法政策上の課題（2018年度はスペース・デブリ（宇宙空間のごみ問題）を予定）をテーマとした演習を通じて政策提言スキルの向上を目指す。</p> <p>The 2008 Basic Space Law set out new purposes of Japan's space activities and renewed its governance structure by establishing Strategic Headquarters for Space Policy headed by Prime Minister. Today, more and more stakeholders such as private sectors are playing important roles. However, space infrastructures such as satellites are still mainly utilized for public services, because they need huge budget. Therefore, to compare with other public service is one thing to study. This course will offer practical lectures by various practitioners and specialists to understand today's situation for space development. Afterwards, students will develop and discuss policy proposals for space debris problems, as practices.</p>				

Course Code	5122388	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政治とマスメディア				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	政治とマスメディアをめぐる様々なトピックスを取り上げ、英語及び日本語文献を講読します。				

Course Code	5122389	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia				
Faculties	NOBLE Gregory William				
Course Objectives/Overview	How have East and Southeast Asia grown so fast? Why have they been subject to such dramatic vicissitudes? How do they fit into regional and international security,				

	trading, and monetary systems? This course will provide a political economy overview, combining historical background; systematic comparisons of liberal, statist, and institutionalist approaches; and political analysis. The main focus is on development, crisis and recovery in Japan and China, but we will also look more briefly at Korea, Taiwan, ASEAN, and Asian regionalism.
--	--

Course Code	5122394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー				
Faculties	平島 健司				
Course Objectives/Overview	世界金融危機に続くユーロ危機や難民危機、あるいはウクライナ危機など、ヨーロッパ諸国は地域に共通する多角的な危機に遭遇してきた。さまざまな問題が十分には解決されないままに、ポピュリズムによって国家統合プロジェクトが拒否されるばかりか、ヨーロッパ近代のデモクラシーそのものの危機さえ論じられるに至っている。本演習は、このような危機に直面する現代ヨーロッパの国家とデモクラシーをさまざまな角度から検討することを目的とする。				

Course Code	5122400	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Governance				
Faculties	TIBERGHYEN Yves				
Course Objectives/Overview	Purpose of this course is obtaining a solid understanding and some critical skills at five levels: 1. The theoretical dilemmas of global governance in the current age; 2. The ability to unpack the process of creating global governance (comparing different arenas) 3. The ability to develop a pathway to analyze and solve governance problems; 4. A better empirical understanding of the particular historical juncture of our current period in a larger comparative perspective with a focus on the interplay between the US, the EU, Japan, and large emerging powers (China, India, Brazil) among others. 5. And empirical knowledge on four issue areas: global finance, climate change, and biosafety from the perspective of global governance, and a changing balance of power				

Course Code	5122402	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan in Today's World				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to provide a basic overview of Japanese politics and foreign policy in today's world. As a summer program designed for participants from academic institutions in the International Alliance of Research Universities, the composition of students will be multinational, providing an opportunity for Japanese students to observe their surroundings from a new perspective. 日本の政治外交について基本的な見取り図を提供することがこのコースの目的				

	である。研究重点型大学連合(IARU)のサマープログラムの一環として開催される関係から、参加する学生は多国籍であり、そのためにこれまでとは異なった視点から日本政治を考える機会を得ることができるだろう。
--	--

Course Code	5122410	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Risk and Regulatory Policy				
Faculties	KISHIMOTO Atsuo				
Course Objectives/Overview	<p>[Learning outcomes]</p> <p>To have a clear understanding of the idea of “risk” and related concepts.</p> <p>To have a sense of developing “risk regulations” in various fields in an evidence-based way.</p> <p>To have knowledge of the utility of, and the way to conduct “Regulatory Impact Assessment (RIA)”.</p> <p>To have a capability of analyzing “real risk issues” in a consistent way for preparing better regulatory policies.</p> <p>[Contents of each class]</p> <p>Each class will consist of the following three components:</p> <p>A) Risk concepts: an important concept will be introduced in each class based on related classic paper(s) on risk.</p> <p>B) Real world risk regulations: various topics will be covered from the viewpoint of how risks are assessed and managed in Japan, such as chemical substances, foods, crimes, natural disasters, traffic accidents, emerging technologies.</p> <p>C) Regulatory Impact Assessment (RIA): One RIA document covering related topics above will be introduced in each class (They are published in the US, UK, EU, Australia, or Japan).</p>				

Course Code	5122502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海事政策論				
Faculties	長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>四面を海に囲まれた我が国の経済・国民生活を支える上で、海事産業は非常に重要な役割を担っている。例えば、輸出入貨物の99.7%は海運により輸送されている。</p> <p>海事関係の主要分野には、国際・国内の海上輸送（貨物、旅客）、造船、船員、港湾、水先、海上保安等が含まれる。それぞれの分野では、安全確保、事業振興、環境対策、セキュリティ、離島振興、観光振興、人材確保・育成等の視点から必要な政策が議論され、立案、遂行されることになる。また、海事政策においては法令・予算・税制といった国内における措置に加え、国際機関への対応も重要な要素となっている。</p> <p>この授業では、海事関係の様々な分野の事業や業務の構造、歴史、制度、最近の課題や政策、今後の見通し等について、多面的に理解することを目標とする。このため、中央省庁における実務を踏まえた講義を行うとともに、様々な分野の第一線で活躍している優れた</p>				

	<p>実務関係者の話を聞いて対話する機会、施設の見学等を計画する。なお、この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである海洋学際教育プログラムを構成する科目でもあることを踏まえ、法律、行政、海事産業等に関する予備知識があまりない者にも理解しやすいように配慮する。</p>
--	--

Course Code	5123021	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	環境政策				
Faculties	有馬 純／馬奈木 俊介				
Course Objectives/Overview	地球環境問題とエネルギー問題の密接不可分な関係、IPCC の科学的知見と不確実性、地球温暖化をめぐる国際ガバナンスの動向、温暖化対策の理論と実際、我が国における温暖化対策、目標の動き等についての理解の増進を目的とする。				

Course Code	5123026	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	再生可能エネルギーと公共政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	エネルギー安全保障、温暖化防止両面から再生可能エネルギー導入拡大に向けた期待が高まっており、コスト低下も急速に進んでいる。同時に間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も顕在化している。本講座では再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてバランスのとれた視点を提供することを目的とする。				

Course Code	5123027	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	再生可能エネルギーと公共政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	エネルギー安全保障、温暖化防止両面から再生可能エネルギー導入拡大に向けた期待が高まっており、コスト低下も急速に進んでいる。同時に間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も顕在化している。本講座では再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてバランスのとれた視点を提供することを目的とする。				

Course Code	5123030	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	都市地域政策				
Faculties	長谷 知治／高橋 孝明／河端 瑞貴／中川 万理子				
Course Objectives/Overview	現実の都市地域政策を経済学のツール等を用いて分析・評価する能力を養うことを目的とする。講義において実際に取り扱うテーマは、交通政策、土地利用政策、都市環境政策、住宅政策等の中から、適宜選択する。政策分析における GIS（地理情報システム）の活用法についても教示する。				

Course Code	5123031	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域交通政策研究				
Faculties	宿利 正史／長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>少子高齢化、人口減少等が顕在化、深刻化しつつある今日、都市部、地方部を問わず、地域公共交通をめぐる状況は、全般的に厳しさを増している。</p> <p>こうした状況の下、地域住民の足であり、かつ、地域間交流の基盤である地域交通を持続的に確保・維持し、改善していくための政策のあり方について、各授業毎に具体の事例を採り上げて、当該事例の説明及びディスカッション並びに現地視察を通じて考察を深める。</p>				

Course Code	5123032-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123032-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123033	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Energy Systems				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi / FUJII Yasumasa				
Course Objectives/Overview	In this course, basics of energy systems on and around nuclear energy are explained comprehensively. Environmental and economic evaluation methods associated with energy use and development are also mentioned so that the students can obtain balanced knowledge and ways of thinking of energy systems.				

Course Code	5123034	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Resilience Engineering				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi / FURUTA Kazuo				
Course Objectives/Overview	Resilience is the intrinsic ability of a system to adjust its functioning prior to, during, or following changes and disturbances, so that it can sustain required operations under both expected and unexpected conditions. Resilience can be an advanced concept of safety based on probabilistic concept of risk and now drawing attention of researchers and practitioners. Resilience engineering is an academic area of study to pursue methodologies how to implement resilience to complex socio-technological systems. This lecture provides fundamental concepts, frameworks of resilience engineering as well as an up-to-date overview of specific applications.				

Course Code	5123035	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	災害・リスクと経済				
Faculties	中田 啓之 / 木原 隆司 / 外谷 英樹 / 深尾 光洋 / 山形 辰史				
Course Objectives/Overview	<p>自然災害は先進国・発展途上国を問わず人々の生活を破壊しうる。今回の大震災は、地震や津波といった自然災害だけでなく、原子力発電所事故による放射能漏れという深刻な「技術的災害」を伴っている。2011年秋にはタイ・アユタヤ周辺で大規模な洪水が発生し、多くの日系企業が被災、膨大な直接被害とサプライチェーンを通じた深刻な間接被害が生じた。翻れば、日本と世界経済は、2008年のリーマン・ショックを契機とする「世界金融危機」やユーロ圏の財政危機の余波も未だに受けている。さらには、アフリカの多くの国々がいまだに紛争や熱帯感染症に直面する一方、テロ事件が先進国にも深刻な影響をもたらしている。こうした世界の様々な大災害は「自然災害」「技術的災害」「経済危機」「戦争」の4つのカテゴリーに大別される。最後の3つは「人的災害」と呼ぶことができよう。東日本大震災のような地震災害に限らず、巨大リスク全般を扱うオムニバス講義として、これら4種類の災害について、リスクを把握した上で事前の備えと災害後の復旧・復興を考える。</p>				

Course Code	5123038	Term	S 1	Credits	2
-------------	---------	------	-----	---------	---

Course Title	Data Science for Practical Economic Research
Faculties	Fabinger Michal
Course Objectives/Overview	<p>This course is designed to help students use their time efficiently when performing economic data analysis.</p> <p>Topics include: Data manipulation: dataset transformation, visualization, data cleaning, web data scraping, conversion of data for the purposes of econometric estimation. Supervised machine learning: under-fitting and over-fitting, regularization, cross-validation, data augmentation. Unsupervised machine learning: clustering, factor analysis, principal component analysis, independent component analysis. Semi-supervised learning. Distributed data representation: entity embedding. Nonlinear dimensionality reduction. Computational graphs and functional programming. Practical aspects of high-performance computing: GPU computing, cloud computing.</p> <p>The course will include a first introduction to Python, R, and Mathematica, as well as PyTorch and TensorFlow. For specialized tasks other software will be introduced. Students are encouraged to bring to the class their own datasets, which could then be used for the purposes of instruction and practical demonstration.</p>

Course Code	5123039	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Topics in Asset Pricing				
Faculties	Fabinger Michal				
Course Objectives/Overview	<p>Asset pricing theory and empirics - introduction and selected topics. Topics include: choice under uncertainty, static portfolio choice, capital asset pricing model, arbitrage pricing theory, stochastic discount factor, stock return predictability, consumption-based asset pricing, bond pricing and sovereign debt default risk, exchange rate determination, inter-temporal asset pricing, risk-sharing, asset markets with asymmetric information, household finance and its behavioral aspects, machine learning in finance. Each topic will be illustrated with real-world examples that will provide an intuitive understanding of when the models are useful and when they do not apply.</p>				

Course Code	5123041	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Deep Learning				
Faculties	FABINGER Michal				
Course Objectives/Overview	<p>Deep learning in artificial neural networks is a collection of statistical methods that benefit from large datasets and parallel computing. Recently it led to remarkable progress in many domains of research. This course provides an introduction to the subject, including the latest research. The structure of the course is chosen with the aim to be useful to students with very different academic backgrounds.</p> <p>Topics include: Optimization: backpropagation, stochastic gradient descent and its accelerated versions, second-order optimization methods. Supervised and semi-supervised machine learning: under-fitting and over-fitting, regularization, cross-validation, data augmentation. Neural network architecture: activation functions and their properties, layer patterns. Training neural networks: data preprocessing,</p>				

	<p>weight initialization, gradient flow, batch normalization, regularization, practical aspects of GPU computing and distributed training. Hyper-parameter optimization, model ensembles, model compression. Transfer learning and fine-tuning. Spatial data modeling: convolutional networks, visualizing their internal data representations, susceptibility to adversarial examples. Sequence data modeling: recurrent networks, LSTMs, GRUs, and their convolutional alternatives, attention. Recursive data modeling: recursive neural networks. Natural language processing: word embedding and its visualization, neural machine translation, speech recognition and synthesis. Capsule networks. Unsupervised machine learning: variational autoencoders, adversarial networks, graphical models. Reinforcement learning: Q-learning, policy gradient methods and actor-critic methods, trust region policy optimization. Evolutionary strategies. Use of neural networks for designing and training other neural networks: neural architecture search, meta-learning. Hybrid computing combining advantages of neural networks and conventional computers. Use of deep learning for causal inference and counterfactual predictions. Privacy and ethical issues related to artificial intelligence.</p> <p>Selected applications: econometric estimation of causal effects, solutions to game-theoretic models, economic time-series modeling, sentiment analysis, patient health outcome prediction, low-cost disease diagnosis, overcoming sensory loss with deep-learning technologies.</p> <p>The course will include a first introduction to Python and to deep learning frameworks PyTorch, TensorFlow and Keras. The precise selection of topics for the course will be adjusted based on the students' interests.</p>
--	--

Course Code	5123042	Term	S 2	Credits	2
Course Title	International Trade				
Faculties	FURUSAWA Taiji				
Course Objectives/Overview	<p>We learn the core theories of international trade at an advanced level. We will cover the theories that have been used extensively in the research frontier of international trade. The aim for this course is to give enough knowledge and understanding to read papers in this field and to construct one's own model for analyzing various issues in international trade.</p>				

Course Code	5123125	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策評価の経済学				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	<p>政策形成をより合理的なものに改善していくためには、政策分析の質的向上が必要である。</p> <p>なかでも、政策の効果を経済学的に分析することは、その結果を肯定するにせよ、否定するにせよ、政策形成上必須であろう。しかし、これまで、政策の効果を経済学的に分析することは日本の政策現場では伝統的に軽視されてきた。</p> <p>本科目の主要な目標は、費用便益分析の標準的な教科書に基づいて費用便益分析の全体像を習得することである。</p>				

Course Code	5123179	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	上級マクロ金融				
Faculties	福田 慎一				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、標準的な経済理論（主に、マクロ経済学）を応用することによって、市場経済における金融の役割とマクロ経済の関係を明らかにすることを目的としている。具体的には、（１）金融機関の存在理由とその機能、（２）日本の金融制度の変遷、（３）マクロ経済変動や経済成長と金融システムとの関連、（４）金融政策の機能と限界、（５）金融市場における価格メカニズムの役割、（６）資産価格の決定メカニズム、などを主要なテーマとして、それらに関連した応用問題に関する論文を輪読すると同時に、参加者にオリジナルな論文を報告してもらう。</p>				

Course Code	5123211	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Advanced Development Economics				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	<p>This graduate-level development economics course builds on theories of economic development and presents recent works on development, focusing on empirical approaches. The first part of the course provides brief overviews of recent debates on development and introduces empirical literature on growth, poverty, and inequality at macro and micro levels. Then, the course will present the selected individual factors which promote development, focusing on human capital, production and technology, productivity, and the vulnerability to shocks including natural disasters. The last part considers the role of government. It will focus on recent papers on political economy and development public finance, particularly the evaluation of foreign aid and social assistance programs, infrastructure investments, redistributive policies, and regulations. The course introduces modern empirical methods of policy evaluations and helps students writing own research paper in development economics.</p>				

Course Code	5123231	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	マクロ時系列の実証分析				
Faculties	宮尾 龍蔵				
Course Objectives/Overview	<p>マクロ経済変数は、その多くが互いに影響を及ぼし合う相互依存の関係にあり、また過去の変化の影響が持続するという傾向を持つ。本講義では、こうしたマクロ時系列変数の実証分析に必要な計量理論と手法を習得する。本講義の特徴は、具体的な応用例を通じて、初歩的な回帰分析からより上級の計量手法へと段階的に学んでいくことである（Stock-Watson テキストのアプローチ）。テーマごとに実証練習問題を設定し、実際にデータ分析を行うことで、概念や手</p>				

	法の理解を深める。
--	-----------

Course Code	5123241	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	不動産証券化と社会資本マネジメント				
Faculties	辻田 昌弘／中川 雅之				
Course Objectives/Overview	<p>今後我が国では、高度成長期に大量に整備された社会インフラが一斉に更新期を迎える。一方、少子高齢化・人口減少・情報化・グローバル化といった社会環境の変化により、社会インフラに対するニーズは大きく変化しつつある。こうした状況を踏まえ、さらには現下の厳しい財政事情を勘案すると、今後の社会インフラの整備・更新・運営・管理には、計画性・効率性といった観点から社会インフラを総合的にマネジメントしていくという視点が重要になる。</p> <p>本科目では、この「社会資本マネジメント」について、特に民間のノウハウや資金を社会資本マネジメントに導入する「官民連携」の視点を重視しつつ、その全体像を俯瞰することを通じて、今後の都市・地域政策のありかたについて基本的な知識と視座を習得することを目的とする。</p>				

Course Code	5123245	Term	S 1	Credits	2
Course Title	保健医療経済学				
Faculties	康永 秀生				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療経済学の基礎知識を身に着ける。 2. 医療経済学の考え方に沿って、現実の医療経済政策における個別の課題について考察する力をつける。 				

Course Code	5123250	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	エネルギー政策				
Faculties	小山 堅／有馬 純				
Course Objectives/Overview	<p>わが国を取り巻くエネルギー情勢には様々な課題が山積している。原油価格は2014年後半から急落し、低価格状況が続いたが、2017年から始まったOPEC/非OPEC協調減産を受け、徐々に回復、2018年1月には3年1ヶ月ぶりの70ドル台に復帰した。原油価格の変動は、わが国等の消費国にも、産油国にも多大な影響を与える。世界の主要供給地である中東では、サウジアラビア等とカタールの断交、サウジアラビアとイランの緊張関係など、地域全体の不安定化・流動化が顕在化している。原油価格低下をもたらした主要因の一つ、米国シェール革命の今後の展開にも注目する必要がある。また、発足後1年経過したトランプ政権のエネルギー政策が世界のエネルギー情勢にどのような影響を及ぼすのか、世界の関心が高まってい</p>				

	<p>る。需要面では、これまで世界経済の牽引役となってきた中国でのエネルギー需要の伸び、エネルギー選択が世界を左右する重要課題となっている。東日本大震災後、わが国では、エネルギー政策包括的見直しが進められてきた。2030年のエネルギーミックスがようやく定まり、原子力発電所の再稼働も始まったが、今後のエネルギー政策課題は山積している。電力とガスの小売り自由化が行われ、本格的なエネルギー大競争が始まる可能性もある。内外の最新エネルギー情勢を踏まえつつ、エネルギーセキュリティ問題と地球温暖化問題の一体的・統合的な解決を目指すエネルギー政策の現状と課題について、理解を深めるべく、講義を進めていく。</p>
--	--

Course Code	5123256	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Central Banking				
Faculties	SHIRATSUKA Shigenori				
Course Objectives/Overview	This course gives an overview for a basic framework of central banking with particular emphasis on the practical aspects of central bank policy making. How monetary policy is formulated and implemented? How monetary policy is operated under the zero lower bound of nominal interest rates? What role does a central bank play in achieving financial system stability?				

Course Code	5123262	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Asian Economic Development and Integration				
Faculties	KAWAI Masahiro				
Course Objectives/Overview	<p>The syllabus for academic year 2018 is not ready yet, so students are advised to take a look at the syllabus for 2017. The contents, structures, organizations and requirements of the course will be largely similar to those of 2017. Please see the 2017 syllabus at the following site:</p> <p>http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2018/02/Kawai-ADBStaff-Syllabus-AsianEconDevIntegration-2017.pdf</p>				

Course Code	5123272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医療イノベーション政策				
Faculties	大西 昭郎\鈴木 寛\岸本 充生\林 良造				
Course Objectives/Overview	<p>一国の医療の水準、そしてその結果としての健康の水準は、医療に対する支出の全体の水準と個別の価格設定、提供される医療の安全・安心や一定の質を確保するための国家の関与、医療事故に対する責任の構造、効率的で公平な国民のアクセスを提供するための人的・物的インフラの整備のルールなどに対して、医師、患者、病院、保険者、薬局、製薬企業、医療機器メーカーなど様々な主体が反応</p>				

	<p>していく行動の総体として決定される。そして、これらの主体の行動や制度の有効性は、少子高齢化の進展、グローバル化の進展、経済成長の動向、医療技術の進歩などにより変化している。本講義は、医療水準やその結果としての国民の健康の水準を決定する様々な制度について、当事者間の合意と市場の働きに委ねるのではなく国家の関与が必要とされる理由にさかのぼって考え理解するとともに、特に近年、医療・健康政策と経済成長のための政策の両面から注目されている「医療イノベーション」に視点を当ててこれらの諸制度の評価を行う。</p> <p>医療をめぐる近年の急速な技術進歩やグローバル化の進展を理解するとともに、基礎的科学から患者への提供にいたるヘルスケア産業のイノベーションの過程を取り上げ、国際的な比較を交えて、日本のイノベーション環境の評価を行う。また、「医療イノベーション」を経済成長のための政策としてみる場合の留意点について理解する。それらに合わせて、先端医療技術の活用におけるリスクや不確実性、個人情報保護、倫理上の課題も取り扱う。具体的な事例としては、医薬品・再生医療・医療機器に関する研究開発や承認プロセス等を扱う予定である。</p>
--	--

Course Code	5123275	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	イノベーションの経済学				
Faculties	五十川 大也				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、経済学の観点からイノベーションに係わる諸トピックにアプローチする。第一に、イノベーションを生み出す主体とそのメカニズムについて、経済理論と現実の事例を参照しながら学習する。同時に、民間のイノベーションを捉えることを目的に実施されている統計調査を幾つか紹介し、わが国におけるイノベーションの特徴を概観する。第二に、イノベーションの測定に関するトピックを扱う。イノベーションの成果を定量的に把握する上で生じる困難を確認しつつ、既存の分析で採用されている測定手法を紹介する。第三に、科学技術イノベーション政策（STI 政策）に焦点を合わせる。イノベーションに係わる種々の政策を紹介しながら、その理論的なバックグラウンドを学ぶ。さらに、STI 政策の経済的評価に関する論点を扱う。</p>				

Course Code	5123300	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Asian Financial Markets				
Faculties	KAWAI Masahiro				
Course Objectives/Overview	<p>Please see the syllabus at the following site: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2018/02/Kawai-Syllabus-AsianFinancialMarkets-GraSPP-Spring-Summer-20180216.pdf</p>				

Course Code	5123310	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Population Aging and the Generational Economy				
Faculties	OGAWA Naohiro				
Course Objectives/Overview	Population explosion was the central demographic problem of the 20th century, but population aging is likely to take that spot in the 21st century. In the first half of this course, we shall examine causes and consequences of fertility declines and mortality improvements that have occurred in the past 20 to 30 years by focusing primarily on socio-economic changes. In doing so we shall cover not only Japan but also other various countries, both developed and developing. In the second half of the course we shall quantitatively assess the macroeconomic impact of age structural changes induced by fertility and mortality transformations and also examine their micro-level influence on family finances. The method employed will be the National Transfer Accounts (NTA), which have recently been introduced in 46 countries of the world. These analyses will be conducted from the standpoint of formulating and implementing policies and will not rely solely on the results for Japan, but for other countries participating in the global NTA project as well.				

Course Code	5123311	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Introduction to Auctions and Mechanism Design				
Faculties	MARSZALEC Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	This course explores various aspects of auction theory and mechanism design. The aim is to give the participants a broad overview of the applicability of auction-based methods both in the context of academic research as well as practical implementation.				

Course Code	5123312-1	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills: Writing and Research Planning				
Faculties	Marszalec Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	This course aims to teach some skills that will help you along your career path to being a successful economist; it is a part of two-course series that I teach. I recommend that you take both courses - both of them focus on communication, and effective delivery of your work. In this part of the course we will focus on writing, and structuring your research.				

Course Code	5123312-2	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills: Speaking and Presentation				
Faculties	Marszalec Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	This course aims to teach some skills that will help you along your career path to being a successful economist; it is a part of two-course series that I teach. I				

	<p>recommend that you take both courses - both of them focus on communication, and effective delivery of your work.</p> <p>In this part of the course, we will focus on effective verbal communication, designing presentations, and learning and practicing voice use.</p>
--	---

Course Code	5123350	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Public Policy and Energy				
Faculties	YOSHIKAWA Hisashi / BIROL Fatih / KUSAKA Kazumasa				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with a structured understanding of public policy by introducing students to the design, making, implementation and evaluation of energy and climate change policy where policy makers with insufficient information have to make decisions taking multi-faceted factors such as economy, security, technology and innovation, foreign policy and international institutions into consideration. It also aims to define the fundamentals of energy markets and systems. Students are encouraged to actively participate in the class discussion. The course also tries to develop the students' skill of communications and document preparation.</p>				

Course Code	5123370	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Development in Korea and other Asian countries				
Faculties	FUKUDA Shinichi / LEE Doowon				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to improve the understanding of the Korean and the other East Asian economies in the global perspective. Also, the instructor will help the students to enhance their knowledge about theories of macroeconomics, international trade and economic development in the light of the Korean and the other East Asian experiences. Upon reviewing major models of economic development, this course will examine the century-old economic development of Korea and East Asia. Most of the emphasis will be given to the period after the Second World War. The lion's share of the lecture materials will be devoted to review the evolution of the Korean economy during the last several decades in comparison with other East Asian economies. Major characteristics as well as the most important policy change of each decade will be explained. Also, more specific topics such as macroeconomic management, fiscal and monetary policy, role of financial market, firms and industrial policy, external economic relation, and social issues will be studied. In each subject, relevant theoretical backgrounds will be introduced. Also, international comparisons based on various sources of references will be made as much as possible to enhance the understanding of the lectures.</p>				

Course Code	5123390	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	日本のマクロ経済分析と政策形成				
Faculties	齋藤 潤				
Course Objectives/Overview	適切な経済政策の形成にとって、経済の現状に関する十分な認識が				

	<p>不可欠なことは言うまでもない。本講義では、そうした現状認識のために必要な基礎データの見方も紹介しながら、日本におけるマクロ経済の現状について多面的な分析を行った上で、それが直面する課題を克服するために必要な経済政策のあり方について考える。</p> <p>また、マクロ経済の現状を分析するにあたっての前提として、バブル崩壊後の経済成長の低迷や景気の自律回復力の弱体化がもたらされた要因を理解しておく必要がある。そのために、経済システムの変容や高齢化・人口減少の影響など、構造的な側面についても分析を行う。</p>
--	--

Course Code	5123400	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Innovation				
Faculties	YARIME Masaru				
Course Objectives/Overview	<p>This course discusses the functions and mechanisms of innovation systems and the economic assessment of their impacts, with implications for industrial structure and dynamics and societal challenges. A particular attention is paid to corporate strategy, public policy, and institutional design. Among the issues to be discussed in this course include models of technological change, systems approaches to innovation, research and development, intellectual property rights, university-industry collaboration, public policy for innovation, and case studies in various sectors. The processes of producing, adopting, and utilizing innovations are elaborated from a perspective of co-evolution of technology and institutions. Analysis of economic evolution is introduced, and its concepts and methodologies are elaborated to represent and model the dynamics of innovations. Systemic approaches are taken to discuss the functions and structure of innovations at the national as well as industrial levels. These theoretical frameworks introduced in the first half of the course are utilized to understand the mechanisms of creating innovations on various types of societal issues, including food, energy, chemicals, information and communication, and health. Implications for public policy and institutional design are explored for a transition towards global sustainability.</p>				

Course Code	5123405	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Financial Regulation				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with first-hand information and knowledge on global financial regulation and help them develop a broad understanding of financial regulation, paying particular attention to the global nature of financial regulation. The course covers key topics of global coordination of financial regulation. Issues covered are: history of global financial coordination, the 2008/2009 financial crisis, and the financial regulatory reform after the 2008/2009 crisis. The course in particular discusses key financial regulatory standards in the areas of global systemically important financial institutions (G-SIFIs), recovery and resolution, capital requirements, liquidity requirements, corporate governance, core principles, group-wide supervision, market based finance (shadow banking), over-the-counter derivatives, financial technology, and cyber risk.</p>				

	Students taking this course for credits must attend all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.
--	--

Course Code	5123433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Sovereign Debt				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	This course aims to clarify the nature of sovereign debt (conceptual framework), to familiarize students with sovereign risk assessment on the basis of selected cases (lessons from history) and to provide students with an opportunity to discuss and consider how government liabilities should be managed and sovereign debt crises should be avoided or dealt with in a real-world setting with selected country cases (policy implications). More broadly, we will keep in mind how we could pull a particular country or the global economy out of a vicious circle of debt trap since the credit addicted growth strategy with a growing debt, both public and private, as a consequence appears to be one of the challenges we are faced with in today's world. As a practical training course, students will have the opportunity to debate, work in a team, make oral presentation and produce memos and reports.				

Course Code	5123440	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	経済物理学				
Faculties	和泉 潔／高安 秀樹／高安 美佐子／伊藤 隆敏／水田 孝信／金澤輝代士				
Course Objectives/Overview	「経済物理学」の分野の概要を紹介するとともに、その応用例として、株式市場のデータ、外国為替市場のデータの利用した研究を紹介する。経済物理学の特徴は、高頻度で観察されるデータの規則性、特徴を取り出すことにより、その市場の特性を物理学的アプローチ、経済学的アプローチにより分析することである。観察頻度は秒もしくは、それよりも細かい単位である。				

Course Code	5123450	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際交通政策				
Faculties	宿利 正史／長谷 知治／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	<p>経済のグローバル化が深度化するとともに、我が国が本格的な人口減少時代を迎えた今日、航空、海運、鉄道、観光等多岐の領域にわたる国際交通分野は、我が国の持続的な成長と豊かな国民生活を確保する上で、一層重要な役割を果たすことが期待される。</p> <p>こうした状況の下、国際交通分野が、いかに人流・物流を支え、我が国の国際交流や国際競争力強化等に貢献していくのか、政策の現状や国際交通の実態を踏まえつつ、我が国の将来を見据えた望ましい政策の在り方について、講義及びディスカッション並びに現地視</p>				

	察（2回）を通じて考察を深める。
--	------------------

Course Code	5123471	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Labor Economics				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course introduces various empirical methods to estimate the causal impact of an intervention on the outcome using non-experimental data. Examples are mainly from labor economics.				

Course Code	5123480	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	コーポレートファイナンスと公共政策				
Faculties	新井 富雄				
Course Objectives/Overview	企業活動と資本市場の接点にある Corporate Finance についてその基本原理と関連事項について理解すること。そして、将来、投資銀行、商業銀行、財務コンサルティングや事業会社の財務部門などで Corporate Finance の仕事に従事することを希望する人、また、官庁や中央銀行などで民間企業の金融活動の規制監督業務に従事することを希望する人のために基本的知識を身につけるとともにケース討論等を通じて学習した知識を応用する能力を付けること。				

Course Code	5123485	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Natural Resource and Environmental Economics				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to understand the essential concepts and methods of environmental and natural resource economics. It is designed for a wide range of students who are interested in the environment and natural resources. It covers cost-benefit analysis; market and market failure; non-renewable resources; renewable resources; pollution; environmental policies; climate change; environment and development. This lecture course is offered in English.				

Course Code	5123487	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Economic Crisis				
Faculties	UEDA Kenich / KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	Understand objectives and effects of key policies related to economic crises from both theoretical and empirical perspectives. Economic crises can be classified to (1) currency crisis or BOP crisis, (2) sovereign debt crisis, and (3) financial crisis. Students are expected to become familiar with issues that are common, as well as specific to, each type of economic crises. The first two types can be called as				

	macroeconomic crisis, but recently many countries have experienced financial and macroeconomic crises at the same time. Therefore, students are also expected to recognize structural issues on (4) finance-macro linkages in crises. Lastly, this course will cover recent policy discussions developed since the global financial crisis of 2008.
--	---

Course Code	5123488-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融市場と公共政策				
Faculties	湯山 智教				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、金融市場や金融システムを巡り、これまでの現実的課題に対して、どのような政策対応がとられ、その効果はどう評価されているのか、という観点から、背景や考え方、関連する理論、政策対応、実証分析等について概観していく。具体的には、非伝統的金融政策、マクロプルーデンス政策、金融システム対応、地域金融、政策金融、不公正事案に対する市場監視、コーポレート・ガバナンス関連、FinTech等のテーマを扱う。</p> <p>また、毎回、授業の冒頭10分程度を使って、直近のアナリストレポート等を用いて、現実の金融市場における最近のトピックについて解説することを予定している。</p> <p>本講義は、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング・ファーム、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、これまでの金融市場や金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や政策対応等についての理解を深めることを目標とする。</p> <p>なお、担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）、日本銀行、民間シンクタンク等における勤務経験を有する行政官・実務経験者であり、講義に際しても、理論のみならず、現実の動きや政策対応・実証分析等をバランスよく取り扱っていきたいと考えている。</p>				

Course Code	5123489	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Empirical I.O. Methods for Financial Institutions				
Faculties	WAKAMORI Naoki				
Course Objectives/Overview	This course will cover recent empirical industrial organization papers that use structural approach. In particular, we will focus on financial sector, including the markets for mutual funds, hedge funds, underwriters, stock market, interbank loan market, consumer finance, and so on. For each topic, we briefly overview how such markets work and then discuss the papers.				

Course Code	5123495	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Monetary Policy				

Faculties	AOKI Kosuke
Course Objectives/Overview	<p>本講義では金融政策にかかわるトピックをマクロ経済学の分析手法を用いて解説する。取り上げる分野は、金融政策の波及経路、ニューケインジアンモデル、最適金融政策、中央銀行の独立性、資産市場と金融政策等、非伝統的金融政策である。</p> <p>講義は、単一の教科書に基づくものではないが、以下の教科書が有用である。"Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali,"Monetary Theory and Policy" by Walsh. 講義ノートはウェブページで入手可能。</p> <p>To learn various topics on monetary policy. Topics covered include: identification of the monetary transmission mechanism, the New-Keynesian models, optimal monetary policy, unconventional monetary policy, central-bank independence, financial markets and monetary policy.</p> <p>The course will not be based on a single textbook, but the following textbooks are useful: ""Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali, "Monetary Theory and Policy" by Walsh. Additional readings will be made available to students through the course homepage.</p>

Course Code	5123497	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Empirical Industrial Organization				
Faculties	WAKAMORI Naoki				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to give a solid grounding in understanding the strategic interactions of firms in markets, and their implications on firms' profits and consumer welfare. The main goal of this course is to familiarize students with the important methodologies and topics in the literature and put students in a position to do their own research in this area. In particular, we will cover the basic methodology of structural estimation - production function estimation, estimation of static and dynamic games, which are frequently used in many I.O. applications and antitrust analyses. We also help students do hands-on programming exercises at computer lab.</p>				

Course Code	5123498	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Advanced Industrial Organization				
Faculties	OHASHI Hiroshi				
Course Objectives/Overview	<p>This course introduces students to various topics of industrial organization, including industry studies and antitrust issues. The main goal is to familiarize students with the important topics in the literature today, and put students in a position to do their own research in this area. Some applications to other fields are also discussed.</p>				

Course Code	5123499	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Financial Markets and Institutions				

Faculties	UCHIDA Yoshihiko
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students develop a solid understanding of the basics of financial markets and institutions and the analytical skills required in formulating and implementing financial regulations.</p> <p>The course will cover key theoretical concepts (e.g. financial intermediation, asset transformation, direct vs indirect finance, asymmetric information, moral hazard and principal-agent problem) with emphasis on their applications in the real-world situations.</p> <p>The course will consider global/international aspects of financial businesses/regulations and the context of developing/emerging economies with relatively underdeveloped financial systems as well.</p> <p>Please note that this course will not focus on central banking and monetary policy.</p>

Course Code	5123500	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions I				
Faculties	UCHIDA Yoshihiko				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students develop a solid understanding of asset valuation and risk management in financial institutions and the analytical skills required in formulating and implementing prudential policies and related regulations.</p> <p>The course will cover key theoretical concepts (e.g. option pricing, modern portfolio theory, risk measure, scenario analysis) with emphasis on their applications in the real-world situations.</p> <p>The course will consider global/international aspects of financial businesses/regulations and the context of developing/emerging economies with relatively underdeveloped financial systems as well.</p> <p>This course is designed on the premise that all students will take the following course, "Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions II".</p> <p>Please note that this course will not focus on central banking and monetary policy.</p>				

Course Code	5123501	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions II				
Faculties	UCHIDA, Yoshihiko				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students develop a solid understanding of asset valuation and risk management in financial institutions and the analytical skills required in formulating and implementing prudential policies and related regulations.</p> <p>The course will cover key theoretical concepts (e.g. option pricing, modern portfolio theory, risk measure, scenario analysis) with emphasis on their applications in the real-world situations.</p> <p>The course will consider global/international aspects of financial businesses/regulations and the context of developing/emerging economies with relatively underdeveloped financial systems as well.</p> <p>This course is designed on the premise that all students have finished the preceding course, "Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions I".</p> <p>Please note that this course will not focus on central banking and monetary policy.</p>				

実践科目

Practical Training

Course Code	5130010	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策分析・立案の基礎				
Faculties	(未定)				
Course Objectives/Overview					

Course Code	5130020-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	交渉と合意				
Faculties	松浦 正浩				
Course Objectives/Overview	<p>【受講者数制限あり。定員を超える場合初回講義後に抽選予定。】</p> <p>【受講登録希望は https://goo.gl/forms/gPsbU06KFpdSxoyB2 にて受付(4/11 午前9時迄)】</p> <p>「交渉」というと何か身構えてしまう人も多いでしょうが、実際のところ誰もが毎日交渉を行っています。たとえば家庭内での会話(例えば「今夜のご飯は何にしようか?」)なども一種の交渉です。また同時に、国家間で条約を締結する際にも交渉は行われています。これら多様な「交渉」を幅広くとらえ、それらの共通点から見出された基本的な枠組みが「交渉学」です。幅広い分野の現場で適用可能であるため、現在では全米各地の専門職大学院(公共政策大学院、法科大学院、ビジネススクール、都市計画大学院など)で教えられています。</p> <p>「交渉」のスキルは生まれもつてのものであって、勉強や練習をしても改善は難しいと思込んでいる人が多いと思われませんが、実際はそうではありません。「交渉学」の枠組みを用いて反省することで、交渉に係る問題の正しい理解が可能となり、「交渉学」を念頭に実際の交渉を進めれば、適切な問題改善へとつなげることができます。また、「交渉」の最終目標は相手を打ち負かすことではありません。むしろ、自分と交渉相手が今後共存できる方法をお互い納得できる形で見つけることが交渉の目標です。ですから、今回の講義で扱う「交渉学」のことを「Win-Win 交渉」などと呼ぶ人もいます。また、今回の講義は公共政策における交渉と合意に焦点を当てます。個人間、企業間で行われる交渉と比べ、公共政策に関する交渉と合意形成は、その特性が大きく異なります。特に、ステークホルダーの特定、配分の公正性に対する要請、価値観に根ざした論争と熟議による対応、科学的不確実性への対応などについてこの講義を通じて十分理解を深めていただきたいと思います。なお、講義では環境政策や都市計画を中心とした事例を用いて議論を進めます。</p>				

Course Code	5130025	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	行政法の諸問題				

Faculties	宇賀 克也
Course Objectives/Overview	行政法に関する現代的諸問題の検討を通じて、行政法に関する立法政策を考察する能力を向上させる。

Course Code	5130030	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会調査法				
Faculties	石田 浩				
Course Objectives/Overview	近年、社会科学の研究方法のひとつとして社会調査の方法が盛んに用いられるようになってきた。社会調査とは社会事象について、直接現地におもむきナマのデータを収集し、分析することである。社会調査の様々な技法を学ぶと同時に、実際に仮説を立て、小規模な調査を設計・実施し、調査データのコーディング・クリーニングを経て、データの計量分析を行う。さらに、すでに行われた大規模な全国調査をデータアーカイブから入手し、調査データの2次分析を通して、社会調査データの分析手法を実際のデータに応用することを目指す。				

Course Code	5130072	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Globalization and Economic Structural Policy				
Faculties	HAYASHI Ryoza				
Course Objectives/Overview	<p>This course will examine the essential elements of growth policy and Japan's experience of "growth policy" through the period of globalization. And the class will evaluate Abenomics (economic policy of Abe administration) ..</p> <p>Every state tries various policies to achieve higher economic of growth. However, the concrete measures are different reflecting the environment or the stage of their development. Japan's experience provides rich materials. Japan achieved very rapid economic growth without any important resources other than labor force. She experienced various stage of development in short period of time. Then the globalization changed the paradigm.</p> <p>After examining conceptual framework for growth policy, we will walk through the high growth period, bubble and "lost decades". Then we will evaluate Abenomics. In the process, we will look into the impact of the globalization. Then guest speakers will pick up the agenda for economic reform and other contemporary challenges.</p> <p>The class will be conducted in English. Student will be expected to make joint report on the assigned readings in the class, and to participate in the class discussion.</p>				

Course Code	5130120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	精神保健学 I				
Faculties	川上 憲人				
Course	精神保健の疫学を理解し、効果的な第一次、第二次、第三次予防対				

Objectives/Overview	策を立案することができるようになるために、精神保健疫学の基礎および精神保健対策の科学的根拠を学ぶと同時に、事例研究（ケーススタディ）を通じて基礎的かつ実践的な能力を身につけることを目的とする。
---------------------	--

Course Code	5130210-1	Term	S 1	Credits	1
Course Title	Presentations and Discussion				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>Course Abstract The objective is this course is to assist develop skills in public speaking and discussions. Students will learn to write, analyze, and deliver speeches of a persuasive, expository and impromptu nature. Students will also develop skills in argumentation and critical questioning. Beyond providing students the opportunity to improve presentations skills, this course will also encourage students to develop interpersonal communication skills as they work through problem solving, negotiation and simulation exercises. In addition to regular coursework, students will be expected to follow current events closely, and will use these events to hone their skills in speaking and argumentation.</p>				

Course Code	5130210-2	Term	S 2	Credits	1
Course Title	Presentations and Discussion				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>The objective is this course is to assist develop skills in public speaking and discussions. Students will learn to write, analyze, and deliver speeches of a persuasive, expository and impromptu nature. Students will also develop skills in argumentation and critical questioning. Beyond providing students the opportunity to improve presentations skills, this course will also encourage students to develop interpersonal communication skills as they work through problem solving, negotiation and simulation exercises. In addition to regular coursework, students will be expected to follow current events closely, and will use these events to hone their skills in speaking and argumentation.</p> <p>Class Delivery The course consists of 15 meetings. Because this class is a group communication class, active participation is vital, and will represent a substantial portion of the course grade. In other words, students should come fully prepared to take part in class activities. The class will comprise:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Quizzes – each class meeting will start with the “Study Questions” related to the readings. • Presentations – all classes will include short individual prepared and/or impromptu presentations and discussions. • Some classes will feature group project deliberations on topics of interests and peer evaluations. • The final classes will be slated for formal presentations “Informative Presentation” and “Persuasive Presentation” using Power Point followed by questions and answers to put into practice the skills learned. 				

Course Code	5130211	Term	S 1	Credits	1
Course Title	Academic Writing Basic Level				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to review the major syntactical structures required to compose well organized paragraphs and study the vocabulary necessary for academic work in English. Students will begin to build their ability to recognize correct language structures and progressively work on producing more and more complex bodies of writing. Students taking this course should have a minimum iBT TOEFL score 65 or IELTS score 5.</p> <p>Topics in this course will include defining, comparing, punctuation rules, summarizing, commenting on data, describing causal relationships and processes, and proposing solutions. Concepts learned in this course will be applicable to longer pieces of academic writing.</p>				

Course Code	5130212	Term	S 2	Credits	1
Course Title	Academic Writing Basic Level				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to examine the key elements of long pieces of writing from paragraphs to essays while paying particular attention to the difference between paraphrasing and plagiarizing. In the same vein, we will study the summary and the Critical Review, two crucial components of an academic paper. Students taking this course should a minimum TOEFL score 79 or IELTS 6. It is not required to have taken the ACADEMIC WRITING BASIC LEVEL course to take this one.</p>				

Course Code	5130215	Term	A 1	Credits	1
Course Title	Academic Writing Advanced Level				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to review the major syntactical structures required to compose well organized paragraphs and study the vocabulary necessary for academic work in English. Students will begin to build their ability to recognize correct language structures and progressively work on producing more and more complex bodies of writing. Students taking this course should have a minimum iBT TOEFL score 65 or IELTS score 5.</p> <p>Topics in this course will include defining, comparing, punctuation rules, summarizing, commenting on data, describing causal relationships and processes, and proposing solutions. Concepts learned in this course will be applicable to longer pieces of academic writing.</p>				

Course Code	5130216	Term	A 2	Credits	1
-------------	---------	------	-----	---------	---

Course Title	Academic Writing Advanced Level
Faculties	FAYE Singh
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to examine the key elements of long pieces of writing from paragraphs to essays while paying particular attention to the difference between paraphrasing and plagiarizing. In the same vein, we will study the summary and the Critical Review, two crucial components of an academic paper. Students taking this course should have a minimum TOEFL score of 79 or IELTS 6. It is not required to have taken the ACADEMIC WRITING BASIC LEVEL course to take this one.

Course Code	5130220	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Advanced Study of Science & Technology				
Faculties	Y. KOBAYASHI / M. MITSUISHI / H. NAKATOMI / K. MOTOHASHI / R. MASTUHASHI / K. FURUTA / S.KANO / S. MARUYAMA / JS. Lee				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to cultivate internationally competitive young researchers equipped with literacy and competency to become future leaders in industry and academia. The course deals with multidisciplinary application skills and the in-depth research in specialized fields so that students accomplish the ability to work in a broader spectrum and apply one's skills to a multidisciplinary setting.</p> <p>The topics of the course include medical robotics, medical high-tech industries, disease prevention, health care system, science technology and industrial policy, system safety, energy technology, and, nano-technology.</p>				

Course Code	5130230	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Social Design and Global Leadership				
Faculties	SUZUKI Hiroshi / SHIROYAMA Hideaki				
Course Objectives/Overview	<p>This is the introductory lecture course for graduate leading program on social design and management. Basic concepts and methods for social design and management in organization settings are introduced, followed by concrete cases in various sectors and discussion on global leadership as a cross cutting issue. This course especially focuses on problem definition phase of social design and management.</p>				

Course Code	5130240	Term	A 1	Credits	2
Course Title	社会と健康 I				
Faculties	近藤 尚己 / 橋本 英樹 / 川上 憲人				
Course Objectives/Overview	<p>貧困や社会関係、差別など、健康に影響を与える社会的な要因 (Social Determinants of Health: SDH) についての理論と最近の知見を学ぶ。関連する社会疫学等の分野でよく用いられる計量分析手法の基本的な考え方も伝える。</p>				

Course Code	5130241	Term	A 2	Credits	2
Course Title	社会と健康 II				
Faculties	近藤 尚己				
Course Objectives/Overview	社会環境にアプローチするヘルスプロモーションと健康格差対策の理論と実践について事例とともに実践的に学ぶ。毎回グループディスカッションの時間を十分にとり、意見を出し合い考えることを重視する。最終日は受講者自らが調べた内容の発表を行う。				

Course Code	5130245	Term	S1A1	Credits	2
Course Title	Global Health Policy				
Faculties	SHIBUYA Kenji				
Course Objectives/Overview	<p>本特論は、グローバルヘルスにおける主な課題と論点の理解と理論的背景を概説するとともに、政策課題の分析と解釈のための実践的演習を行う。グローバルヘルスの第一線で活躍する外部講師による特別講義も適宜実施し、理論と実践の双方を習得する。扱うテーマは、グローバルヘルスの政策とガバナンス、イノベーション、保健関連ミレニアム開発目標（母体、新生児、小児の疾病、HIV/エイズ、結核やマラリア）、疾患サーベイランス等である。</p> <p>This course introduces the principles and theories of major global health challenges and discusses current controversies in improving global population health, as well as practical applications of quantitative methods to analyze and interpret issues and challenges for policy. Topics will include: global health policy and governance, innovations in global health, health-related MDGs (maternal, newborn and child health, HIV/AIDS, tuberculosis, and malaria), and disease surveillance.</p>				

Course Code	5130248	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Introduction to Cybersecurity Policy				
Faculties	HAYASHI Ryojo / ONISHI Akio				
Course Objectives/Overview	<p>Overview:</p> <p>This course introduces students to the issues of security operations surrounding information system and internet communications in Japan and around the world, by focusing on security challenges arising from the globalization of internet, the sharing of networks, complex web of digital technology, and strategic communications. The course will enable students to understand how and why cybersecurity has drawn an increasing concern and driven the nation for development of strategies and policy at both national/international level. This course does not require significant skills or experience in information technology.</p> <p>Course Objectives</p> <p>The course objectives include but not limited to</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Understanding the policy issues that center on critical infrastructure protections, international relations, business continuity, and risk/crisis management to protect intellectual property, assets, reputation, and other organizational assets from any 				

	<p>threat or attack related to cybersecurity.</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Understanding the role of technical standards to supplement legal and regulatory requirements; ● Analyzing critical incidents including data breaches or related events to design and implement organizational strategies to address such risks; ● Gaining a basic understanding for future technical and other research in security (whether it is public or public sector) ● Gaining a basic grounding for policy via the examination of current research issues and problems ● Gaining experience handling real-world security policy challenges through analysis of public documents and artifacts using written and oral communication. ● Developing the multidisciplinary skills needed to analyze, manage, and resolve the challenges associated with public policy, international relations, and governance. ● Students are encouraged to take experiment provided by Interfaculty Initiative in Information Studies/Graduate School of Interdisciplinary Information Studies
--	---

Course Code	5130250	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Mathematics for Public Policy				
Faculties	KAKINAKA Makoto				
Course Objectives/Overview	<p>This course introduces fundamental mathematical tools that are useful in analyzing various public policies in a scientific way. By taking this course, you will be able to systematically and intuitively apply mathematical methods to economic and management issues and utilize them for your research on public policy issues. The focus of this course is on (i) fundamental elements and (ii) applications to real world issues. The fundamental elements include functions, sequence and series, differentiation, unconstrained and constrained optimization, integration, and matrix algebra. We also cover simple versions of differential and difference equations to understand the basic concept of dynamic systems. It is important for you to realize in advance that this course is a building block for any further study of public policy.</p>				

Course Code	5130260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障・人口問題の現代的諸相				
Faculties	暮石 渉				
Course Objectives/Overview	<p>本講座では、少子高齢化・人口減少というメガトレンドを理解した上で、社会保障制度や日本社会のあるべき姿を考えるために必要な知識や視点を半年の講義で学ぶ。まず、日本社会が直面している課題、そして人口問題と社会保障をともに学ぶ意義と有効性を解説する。前半では、少子高齢化の今後の動向やそれがもたらす社会の変化について、マクロの人口現象と個人のライフコース変容の視点を織り交ぜながら総合的に理解することを目指す。中盤では社会保障制度の体系、家族政策、年金、医療、介護、貧困と福祉制度といった社会保障各分野の概念や知識、現代的課題を学ぶ。終盤では、目を世界に向けて、世界の人口動向や日本の周辺諸国における社会保</p>				

	<p>障の動向について紹介する。</p> <p>本講座では国立社会保障・人口問題研究所において社会保障や人口分野の調査研究に携わってきた専門家が、各分野について順番に講義を行う。</p>
--	---

Course Code	5130270	Term	S 1	Credits	2
Course Title	医療コミュニケーション学				
Faculties	石川 ひろの／木内 貴弘				
Course Objectives/Overview	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。</p> <p>医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>				

Course Code	5130280	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Life at an IFI: Understanding, Designing and Debating Macroeconomic Policy				
Faculties	SCHIFF Jerald／NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide an overview of the work undertaken at an international financial institution such as the IMF. Lectures will analyze macroeconomic linkages and develop a simple framework for macroeconomic analysis and policy-making. Students will use this framework to discuss specific country cases and prominent issues facing the global economy. In this context, the role of global financial institutions, in particular the IMF, will be considered. Students will make (20-30 minute) presentations on a country case, produce (3-5 page) policy memos on a macroeconomic issue of their choice, and engage in practice job interviews (20-30 minutes) for a position at the IMF. There will be ample opportunity for one-on-one consultation before the completion of each assignment.</p>				

Course Code	5130290	Term	S 2	Credits	2
Course Title	International Projects				
Faculties	KATO Hironorii／KOMATSUZAKI Syunsaku				
Course	We are generally facing a variety of social problems. For example, the Great East				

Objectives/Overview	<p>Japan Earthquake set a new task to build new embankments along the Sanriku Coast. It is not a purely technical issue but a social one as social acceptance would be necessary to build those embankments. Even experts of structural mechanics cannot avoid or ignore it. The same thing can be said to international project; for example, Kotopanjang Dam project in Indonesia caused a strong public opposition, which was actually evoked by NGO, and ended in court. Not only engineers but also economists or public policy makers must have competencies to deal with such various aspects of international project.</p> <p>Students are expected to learn the skills of problem solving (analysis, evaluation and forecast) and solution design and the professional knowledge of international project through case method in this course. The instructors with different professional backgrounds will give you an opportunity to learn a wide range of expertise to manage and/or initiate international project in future.</p>
---------------------	---

Course Code	5135030	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	CAMPUS Asia Joint Course: International Public Policy in East Asia				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to deepen understanding of East Asian issues through comprehensive analysis. The course consists of lectures, student group discussions, and field trips. Faculties of SNU and PKU, our partner schools of the Campus Asia Program, also provide a series of lectures in the course. This course is designed for students participating in the Campus Asia program.</p>				

Course Code	5139000	Term	通年	Credits	1
Course Title	インターンシップ				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>単位認定の対象は、公共政策に関わる政府、地方自治体、NPO、民間等の機関において1週間以上のインターンシップに参加した場合である。</p> <p>Students who are going to participate in an internship duration of one week and above at public policy related organizations such as government agencies, municipal bodies, NPO or private institutions etc may register and apply for one credit.</p>				

事例研究
Case Studies

Course Code	5140011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（法政策 I-A）				
Faculties	吉野 亜文				
Course Objectives/Overview	<p>環境法政策は開発・経済発展にルールを課すことで健康被害や自然破壊などの抑制を目指しています。日本は美しい自然環境を有し、厳しい環境規制を行う国、世論調査などでは多くの人があるような印象を持っています。しかし日本の環境政策は本当に理想的な状況なのでしょうか？</p> <p>環境政策にも様々な分野があり、分野ごとに政策手法に特色があります。この授業では様々な環境行政の課題について、問題の本質に起因する解決へのアプローチの違いを学びます。</p>				

Course Code	5140012	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（法政策 I-B）				
Faculties	吉野 亜文				
Course Objectives/Overview	<p>環境法政策は開発・経済発展にルールを課すことで健康被害や自然破壊などの抑制を目指しています。日本は美しい自然環境を有し、厳しい環境規制を行う国、世論調査などでは多くの人があるような印象を持っています。しかし日本の環境政策は本当に理想的な状況なのでしょうか？</p> <p>環境政策にも様々な分野があり、分野ごとに政策手法に特色があります。大きく分ければ廃棄物・リサイクルに関連する制度は資源循環を経済的に成立させることで、自然環境の保全は地域の実情に応じて利害を調整することで、地球温暖化対策は低炭素に向けた技術の誘導や自主取組の推進で、公害対策は科学的知見を基礎とした比較的強制的な手法でそれぞれの法目的の実現を目指しています。</p> <p>環境行政の大半は経済活動を必要に応じて規制するための法制度の制定によって行われます。法律の制定は国の大事な仕事ですが、制定は取組のスタートにすぎません。制度をつくっても多様な活動を一律に制御するのは難しく、実態に合わせた様々な運用の工夫やそれを踏まえた制度の不断の見直しにより、制度が社会の規範として成熟していくのです。決してスマートでもクールでもない行政の現実を学んでみましょう。</p>				

Course Code	5140040	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	事例研究（現代行政 I）				
Faculties	増田 寛也				
Course Objectives/Overview	この授業では、政府部門（中央、地方）の政策形成過程への政党、官僚、利益集団の関わり方と、国民、市民や地域社会に与える影響について幅広く今日の問題を取り上げ、制度と現実の乖離、そこか				

	<p>ら生まれる課題、課題への対処におけるリーダーシップのあり方について実践的な議論を展開し、考察を深める。</p> <p>このため、適宜、関係者へのヒヤリング、現地調査を行う。</p> <p>現時点では、人口減少問題、地方分権改革などを取り上げることを考えている。</p>
--	---

Course Code	5140050	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	事例研究（現代行政 II）				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	<p>政策研究では、政策の具体的な場面を見据えながら、より一般的な視座と行き来しつつ、思考することが求められる。本演習では、このような思考力を養うため、いくつかの具体的な政策を取り上げて、その政策の決定及び執行の過程、さらに政策内容の設計に関する事例研究を行う。演習の前半では、政策のプログラム評価に関する講義とディスカッションを行う。3 限目は、主として政策のプログラム評価に関する講義を行う。4 限目は、毎週1ないし2つ程度の政策事例を取り上げ、予め指定された文献等を読んできていることを前提として、報告者による報告とケースメソッドを用いて、議論を進める。演習の後半は、参加者による政策事例の報告と討論である。各参加者が選んだ政策テーマに基づき報告をしてもらう予定である。</p>				

Course Code	5140060	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（現代行政 III）				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本事例研究では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p> <p>ここ数年度は、特別区に焦点を当てている。特別区(いわゆる東京 23 区)は、直接公選の首長・議会を有しながらも、特別地方公共団体として都区制度という特殊な制度のもとに置かれ、また、圧倒的な政治・経済・文化の中心地である東京という地域を対象としているため、一般の自治体とはかなり様相が異なる。そのため、単純に一般論では語れない側面を有する。</p> <p>そこで、特別区では、どのように関係者が仕事をしてきたのかを聴き取りを行い、特別区政の実態を明らかにすることを目指す。これまでは、特別区職員の仕事のあり方、1975 年改革(保健所移管、特別区人事委員会設置)、1965 年改革、2000 年改革(清掃事業移管)前史の清掃事業移管問題協議会、1975 年改革前史の区長準公選、1975 年前後に広がった特別区における総合計画（長期計画）の策定、路上生活者対策を採り上げた。今年度は、「6 1 都区合意」を採り上げる予定である。</p>				

Course Code	5140072	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（労働政策）				
Faculties	川口 大司				
Course Objectives/Overview	少子高齢社会を目前に控えた日本において労働政策はその重要性を増している。本演習ではエビデンスに基づいて、既存の労働政策を評価する方法を演習を通じて学ぶ。				

Course Code	5140073	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Labor Policy)				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This case study aims at developing basic skills to implement independent program evaluation of labor market policies.				

Course Code	5140076	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（テクノロジーアセスメント）				
Faculties	谷口 武俊／吉澤 剛				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術は科学的知識に関する不確実性と技術の利用形態に関する不確実性という二重の不確実性をもつ。そして、科学技術の研究開発や利用活動には多様なアクターが関わり、そこには様々な利害が生じ、複雑なリスクトレードオフ構造が形成される。科学技術の社会導入は多様な社会的含意をもつ。社会経済活動がより重層的に繋がり相互依存性を高めている社会にあつて、科学技術の研究開発・利用を巡る公共政策は極めて重要である。研究開発・利用を押し進める政策立案者や意思決定者は上述した科学技術の本質を踏まえたとき、如何なることに留意し社会的判断をなすべきだろうか。</p> <p>本講義では、先端科学技術に関する意思決定支援アプローチである「テクノロジーアセスメント(Technology Assessment: TA)」の考え方・手法・制度を学習し、具体的な科学技術を取り上げ実践的に TA 試みることを通して、上述のような問いについて考えていく。これまで受講生が取り上げてきた技術は、大規模洋上風力発電やジオエンジニアリングやスマートグリッドなどの環境・エネルギー分野、M2M や仮想現実・拡張現実などの情報通信技術分野、角膜再生や BMI などの健康・医療技術、宇宙デブリ除去技術、宇宙新輸送システム、自動運転技術、赤外線暗視カメラ、ウェアラブル IoT、医療分野への AI 導入、自動翻訳、ブロックチェーン技術、ゲノム編集技術等である。</p>				

Course Code	5140078	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（人工知能と社会）				
Faculties	江間 有沙、國吉 康夫、佐倉 統、城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>「人工知能」が新聞紙面で見ない日はないほど、自動運転・農業・医療・金融・サービス業等様々な人工知能が紹介され、社会的な関心は高まっています。そのため、国内外で人工知能技術の開発初期段階からの原則策定や、技術の倫理的、法的、社会的影響（Ethical, Legal and Social Implications）の議論が行われています。このような議論には多様な分野の知見が求められており、今後、情報系研究者も倫理・法・社会的知見を持つこと、政策関係者や実務家、人文・社会科学の研究者も情報技術に関する知見を持つことが必要となります。</p> <p>本授業では、「どうやったら技術を社会に受容してもらえるのか」「技術が私たちの社会をどう変えてしまうのか」という技術決定論的あるいは受け身な態度ではなく、「どのような社会を目指し、そのために技術や人は何ができるか」といった視点から「人工知能と社会」における論点を考えます。そのため、人工知能関連技術と密接に関係する分野や学問領域で話題提供いただくゲスト講師をお招きします。</p> <p>また授業は人文・社会科学系、理工系の学生に開かれており、異分野の学生同士での対話の仕方も学び、ディスカッションを通して各々特定のテーマについての最終レポートを作成します。また、学生には授業前にテーマに関する資料を予習し、質疑応答やディスカッションに主体的に参加することが求められます。</p> <p>本授業への最大受け入れ可能人数は最大 30 名です。受講者多数の場合、分野のバランスを考慮しつつ選抜を行います。そのため、本授業への参加を希望される方は必ず初回授業（4月5日）への参加をお願いします。どうしても初回に参加できない場合は、教員に事前に連絡をしてください。</p> <p>なお、本授業は総合文化研究科、情報理工学系研究科、情報学環・学際情報学府、公共政策大学院の合併授業です。</p>				

Course Code	5140079	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Cybersecurity)				
Faculties	HAYASHI Ryoza / ONISHI Akio				
Course Objectives/Overview	<p>The national and economic security depends on the reliable functioning of critical infrastructure. This course encourages collaboration efforts among individuals and organizations responsible for both physical and cybersecurity toward development of integrated risk management strategies that lead to enhanced capabilities necessary for the protection of our Nation's critical infrastructure. Students will identify physical and cybersecurity concerns impacting overall infrastructure security posture, examine integrated physical and cybersecurity incidents and the evolving risks and impacts they pose to critical infrastructure, and explore resources</p>				

	that can be applied to improve security within an organization, business, or government entity.
--	---

Course Code	5140090	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（外交政策 I）				
Faculties	齋木 昭隆				
Course Objectives/Overview	<p>授業の目標：日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、日本は外交を通じて何を達成すれば国益の確保につながるのか？ 日本外交が拠って立つ種々の原則は何か？国連を通じた平和外交の推進、米国との同盟関係の強化、近隣諸国との友好協力の増進、自由で開放的な貿易と投資の国際体制の維持など、戦後日本の平和と繁栄を支えてきた様々な国際的枠組みを検証し、日本が今後進むべき方向について考察する。</p> <p>授業の概要：春学期 13 回、秋学期 13 回の事例研究において、あらかじめ選定した様々なテーマに関して、学生による報告とこれを受けた議論を行い、それぞれのテーマについての理解を深めることに努める。また、時宜に応じて外交実務に当たる関係者を招き、意見交換の機会を設定することにより、学問の世界と現実の世界との関係につき、学生の認識を深めることに努める。</p>				

Course Code	5140100	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	事例研究（外交政策 II）				
Faculties	齋木 昭隆				
Course Objectives/Overview	<p>授業の目標：日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、日本は外交を通じて何を達成すれば国益の確保につながるのか？ 日本外交が拠って立つ種々の原則は何か？国連を通じた平和外交の推進、米国との同盟関係の強化、近隣諸国との友好協力の増進、自由で開放的な貿易と投資の国際体制の維持など、戦後日本の平和と繁栄を支えてきた様々な国際的枠組みを検証し、日本が今後進むべき方向について考察する。</p> <p>授業の概要：春学期 13 回、秋学期 13 回の事例研究において、あらかじめ選定した様々なテーマに関して、学生による報告とこれを受けた議論を行い、それぞれのテーマについての理解を深めることに努める。また、時宜に応じて外交実務に当たる関係者を招き、意見交換の機会を設定することにより、学問の世界と現実の世界との関係につき、学生の認識を深めることに努める。</p>				

Course Code	5140105	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（現代日本外交演習）				

Faculties	小原 雅博
Course Objectives/Overview	<p>現代世界は、主権国家システムの下での大国間のパワー・バランスの変化、テロ・サイバー・難民・気候変動などの非伝統的脅威の増大、科学技術やグローバル化・情報化の画期的進展によって複雑な様相を呈し、国際秩序が変動しつつある。現代日本外交を論じるに当たっては、こうした国際社会の構造変化を踏まえ、外交の原則や要素を確認しつつ、大局的・長期的視点に立ってアプローチする必要がある。</p> <p>●本演習は、そうした認識に立って、第一に、critical thinking を重視し、「考える力」を発揮する、第二に、presentation を懲慥し、自らの考えを「伝える力」を向上させる、第三に、creativity を期待し、debate を通じて新たな問題意識や解決策を「創造する力」を導き出す、ことを目指している。参加者一人一人が外交官として思考し行動するプロアクティブな実践講座であり、積極的な討論参加と創造的な論文作成を求める。</p>

Course Code	5140143	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Case Study (International Political Economy)				
Faculties	HIWATARI Nobuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>Presenting his/her research orally and as a paper in English is now a must for policy specialists.</p> <p>Completing one's research as a paper and presenting it orally in English has become a must for policy specialists. The course is designed to help students write and present an original paper based on empirical research in topics related to international political economy. Participants will obtain firsthand experience on how to formulate research puzzles worthy of an audience, how to efficiently conduct research, how to learn from other people's work, and the merits of peer criticisms in that process.</p> <p>A presentation and submission of a research paper and Power Point slides is required for credit. The course will be conducted in English but is tailored to accommodate non-native speakers.</p>				

Course Code	5140162	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究 (デジタル時代の行政と社会 I (デジタル時代における行政制度の変容と課題))				
Faculties	奥村 裕一／城山 英明／坂井 修一				
Course Objectives/Overview	<p>デジタル時代の到来により、社会の構成員一人ひとりが、組織の壁、社会集団の壁、国家の壁を越えて、直接のつながりを持てるようになった。このことが行政において根本的な変化をもたらしつつある。デジタル時代の行政と社会 I は、この事例研究シリーズの基礎となる行政の変容に関する基本的な知見を身につけることを目的</p>				

	<p>としている。デジタル技術を利用すれば、官僚制やデモクラシーのあり方に変容をもたらし、①業務の簡素化や横断的協働といった効率性や効果の追求、②社会と行政のつながりによる新たな公共空間の創造や政策づくりの新しい方法などが可能である。しかしこれらは自動的にできるわけではなく、デジタル技術を利用する人、組織、社会の認識の変化とそれによる価値の具現が伴わなければ実現しない。このような中で、利用者が主体のデザイン思考の新たな政策形成手法も「デジタル時代」に改めて注目され始めている。これらについて、欧米の先進事例を題材にして理解を深める。</p>
--	--

Course Code	5140163	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（デジタル時代の行政と社会Ⅱ（現代行政情報システム特論））				
Faculties	奥村 裕一／坂井 修一／座間 敏如／平本 健二				
Course Objectives/Overview	<p>事例研究Ⅱでは、デジタル時代を迎えて、これまでにない発想での行政情報システムを考える。行政の仕組で根本的な変化が起きつつある。米国や英国、OECD が取り組んでいるデジタルガバメントである。いわば民間のIoTの政府版ともいえる。</p> <p>デジタル時代では、情報システムに支えられて情報やデータが自由に大量に様々な組織体の壁を越えて行き来し、目的に照らして処理される。こうして社会の新しい価値が生まれる。</p> <p>行政においても情報システムを業務の多面的なニーズにあわせて活用することによって、組織の壁、行政と社会の壁を越えて、大量に行きかう情報やデータを受信し加工し発信して、より適切に効率的かつ効果的に国民のニーズにあった、時には省庁の壁を越えて citizen-centric な業務をこなすことができる。</p> <p>この講義では、実際の行政実務で政府の情報システムの企画や管理に携わっている非常勤講師の内閣官房政府CIO 上席補佐官（二人）とともに、デジタルガバメントについて、その重要な課題は何かを実例を多く取り入れながら考察していく。情報システムガバナンス、プロジェクトマネジメント、データ共有、ビッグデータ解析などを取り上げる。</p>				

Course Code	5140164	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（デジタル時代の行政と社会Ⅲ（市民参加型社会のオープンガバナンス））				
Faculties	奥村 裕一／坂井 修一				
Course Objectives/Overview	<p>事例研究Ⅲでは、デジタル時代の市民参加型社会における社会と行政のオープンガバナンス～、すなわち、デジタル時代の公共ガバナンス（情報の社会的共有・意思決定への市民参加・協働による執行）の実際を事例に即して考える。</p> <p>この背景には、二つの流れがある。</p>				

	<p>一つには、デジタル時代を前提にした行政のオープンガバメントやその第一歩となるオープンデータの流れであり、内外を問わず政府や自治体の「オープンデータ」推進にその萌芽がみられる。いずれもデジタル社会を前提に市民が能動的に公共サービスの形成や実施にかかわっていく社会を描こうとしている。</p> <p>二つには、市民との協働のまちづくりの流れである。特に自治体では90年代以降、市民との協働によるまちづくりなど公共サービスを考え地域の施策に反映させていく傾向が各地で見られる。政府でも自立した市民社会を求めて「国・行政のあり方懇談会」(2014年)で議論したり、市民と共に考え協働する地域包括ケアシステムの構築を進めようとしていたりしている。</p> <p>オープンデータについては、日本では官民データ活用推進基本法が昨年末に制定され政府・自治体の「オープンデータ」推進が法的な裏付けをもって推進され始めているところであり、この基本法の骨格と課題も取り上げる。</p> <p>以上の背景となるデータと政策を結び付ける政策見える化カードを実際に作りつつ、市民参加型社会のガバナンスの在り方を考察する。参考までに「チャレンジ!! オープンガバナンス 2016」(COG2016)で応募のあった事例も参照する。</p> <p>http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/padit/cog2017/</p>
--	---

Course Code	5140205	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究 (公共経済政策：問題分析)				
Faculties	小川 光／深澤 映司				
Course Objectives/Overview	<p>官公庁やシンクタンクなどで経済分野の政策分析業務に従事することを希望する受講者を対象として、そのような職場で政策課題分析型の論文を作成する際に有用な知識や技能を習得することを目的とする。</p> <p>前期 (S1・S2 セメスター) の「問題分析」では、この目的を達成するための基礎固めを行い、後期 (A1・A2 セメスター) の授業で実際に論文を完成させるための橋渡しを行う。</p>				

Course Code	5140206	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究 (公共経済政策：解決策分析)				
Faculties	小川 光／深澤 映司				
Course Objectives/Overview	<p>官公庁やシンクタンクなどで経済分野の政策分析業務に従事することを希望する受講者を対象として、そのような職場で政策課題分析型の論文を作成する際に有用な知識や技能を習得することを目的とする。</p> <p>後期 (A1・A2 セメスター) の「解決策分析」では、前期 (S1・S2 セメスター) の「問題分析」における基礎固めで得られた成果をさらに発展させ、授業の最終的な目的を達成することを目指す。</p>				

Course Code	5140209	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)				
Faculties	IIDA Keisuke				
Course Objectives/Overview	The goal of this course is to explain how Japan's foreign economic policy is made and where its characteristics come from. This course is primarily intended for international students wanting to understand the political and economic underpinnings of Japan's foreign economic policy, but it will be also useful for students who anticipate practicing foreign economic policy in their professional life, or those who will help shape governmental foreign economic policy in the private sector.				

Course Code	5140216	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政治とマスメディア）				
Faculties	谷口 将紀／曾我 豪				
Course Objectives/Overview	ややもすれば年功序列に偏した政治報道のせいか、政官界で「若手」の言動が詳述されることは極めて少ない。そのリーダー育成論の陥穽を埋めるべく、ほぼ40歳以下の中央と地方の政治家や官僚、民間の研究者や記者らに照準を絞り、政治技術などの体得や政治、社会観について掘り下げる。併せて先達らの証言も得て最終的には公共の地帯における人材育成の現状を検証したい。				

Course Code	5140220	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（ミクロ経済政策・問題分析 I）				
Faculties	戒能 一成／松村 敏弘				
Course Objectives/Overview	<p>規制産業と価格・料金制度等に関する政策評価の事例研究を行う。事例としては、例えば下記のような典型的な規制産業における価格・料金や約款制度に関連した問題について、その経済学的な効果や影響を定量的に分析しこれらの制度の妥当性や代替制度の可能性などについて議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由化政策の価格・料金への影響評価（電力・ガス・通信・航空） ・自由化分野・規制分野の混在下における費用配賦問題（電力・ガス） ・従量多段階料金と社会政策・省エネ政策問題（電力・ガス） ・固定料金約款（いわゆる「使い放題」料金）の問題（通信・ガス） ・低公害機器・自動車向優遇料金制度の問題（電力・ガス・有料道路） ・混雑期・時間帯別料金や DSM(Demand-Side Management)の問題（電力・ガス・通信） ・完全独占料金と赤字補填問題（水道・公営交通） 				

	これらの問題への分析のアプローチについては、余剰分析による経済厚生評価を基本とし、各種の前提条件の相違や政策の実施・不実施などを与件とした上でシミュレーションによる定量的な比較分析を行う。
--	--

Course Code	5140226	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・問題分析）				
Faculties	金本 良嗣／辻田 昌弘／長谷 知治／和田 信貴				
Course Objectives/Overview	<p>都市地域政策と社会資本ファイナンスに関する事例研究を行う。本年度は、少子高齢化や低炭素社会への対応、都市の国際競争力や地域経済力の向上等に向けた都市地域政策や交通政策、社会資本整備のための新たな資金調達手法（不動産証券化や公民連携など）等のテーマから選択する。具体的なディールやプロジェクト、海外制度の事例調査等を含め、現状の把握、ステークホルダー間の関係分析、課題の整理等を行い、今後の施策の方向性について研究する。事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・解決策分析）における政策代替案の分析・評価の前段階として、幅広い検討を行うことが期待される。</p> <p>3名程度のグループによる共同作業が基本である。</p>				

Course Code	5140250	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（ミクロ経済政策・解決策分析 I）				
Faculties	戒能 一成／松村 敏弘				
Course Objectives/Overview	前期の事例研究（ミクロ経済政策・問題分析 I：規制産業と料金を巡る問題の政策評価）における調査・研究を踏まえて、具体的な政策代替案の分析・評価を行う。				

Course Code	5140256	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・解決策分析）				
Faculties	金本 良嗣／辻田 昌弘／長谷 知治／和田 信貴				
Course Objectives/Overview	前期の事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・問題分析）における調査・研究を踏まえて、具体的な政策代替案の分析・評価を行う。3名程度のグループによる共同作業が基本である。				

Course Code	5140286	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Intellectual Property Management)				

Faculties	WATANABE Toshiya				
Course Objectives/Overview	<p>1 Purpose</p> <p>The "International IPR Management" course covers the fundamental aspects of intellectual property from business perspective. The course is organized by combining series of lectures and workshops by guest speakers for better understanding the IPR management through real issues in business scene. In order to facilitate effective interactive process in case based teaching, a number of enrolled students could be restricted. In this process, students in the TMI departments as well as those in TMI sub-major have some priority. .</p>				

Course Code	5140298	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Japanese Macroeconomic Policy: Solutions to Monetary and Fiscal Policy Challenges)				
Faculties	HAYASHI Tomoko				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide sound basis for research on the Japanese macroeconomic policy (both monetary policy and fiscal policy), with reference to other countries, from the viewpoint of the policy practitioner.</p> <p>It will cover a wide range of background knowledge from policy framework in theory and practice, economic assessment and data analysis to the current policy settings.</p>				

Course Code	5140299	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（日本のマクロデータによる政策分析）				
Faculties	林 伴子／梅溪 健児				
Course Objectives/Overview	<p>経済分析に多く使われるマクロ経済データについて、その概要と取扱いの仕方、分析の際の留意点等について学び、日本や海外の経済分析に必要なデータに関する実践的な知見を深める。</p> <p>政府・中央銀行や民間シンクタンクのエコノミスト、大学の研究者が経済分析を進める上で必須となる、データに関する基礎知識を身につけ、自ら読み解き、情報発信できるようになることが到達目標である。こうした能力は、エコノミスト、研究者を目指す者のみならず、政府等でしっかりした裏付けのある政策の企画・立案に携わりたい者や、企業の経営企画・コンサルタント業務を目指す者、ジャーナリズムで活躍することを目指す者にも有益な基礎を提供する。</p>				

Course Code	5140340	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（ミクロ経済政策・政策分析入門Ⅰ）				
Faculties	戒能 一成／松村 敏弘				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析の入門として、公共政策大学院1年生に対して提供され、料金規制をはじめとする公益事業規制と、エネルギー・情報通信・交通・環境政策の政策評価に関する具体的な経済政策事例を用いた</p>				

	<p>事例研究を行う。事例としては、下記のような規制産業における価格・料金や約款制度に関連した問題について、その経済学的な効果や影響を定量的に分析し、これらの制度の妥当性や代替制度の可能性などについて議論する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由化政策の価格・料金への影響評価（電力・ガス・通信・航空） ・自由化分野・規制分野の混在下における費用配賦問題（電力・ガス） ・従量多段階料金と社会政策・省エネ政策問題（電力・ガス） ・固定料金約款（いわゆる「使い放題」料金）の問題（通信・ガス） ・低公害機器・自動車向優遇料金制度の問題（電力・ガス・有料道路） ・混雑期・時間帯別料金や DSM(Demand-Side Management)の問題（電力・ガス・通信） ・完全独占料金と赤字補填問題（水道・公営交通） <p>分析のアプローチについては、余剰分析による経済厚生評価を基本とし、各種の前提条件の相違や政策の実施・不実施などを与件とした上でシミュレーションによる定量的な比較分析を行う。</p>
--	--

Course Code	5140346	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・政策分析入門）				
Faculties	金本 良嗣／辻田 昌弘／長谷 知治／和田 信貴				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析の入門として、公共政策大学院1年生に対して提供され、都市地域政策と社会資本ファイナンスに関する事例研究を行う。本年度は、少子高齢化や低炭素社会への対応、都市の国際競争力や地域経済力の向上等に向けた都市地域政策や交通政策、社会資本整備のための新たな資金調達手法（不動産証券化や公民連携など）等のテーマから選択する。具体的なディールやプロジェクト、海外制度の事例調査等を含め、現状の把握、ステークホルダー間の関係分析、課題の整理等を行い、今後の施策の方向性について研究する。</p> <p>3名程度のグループによる共同作業が基本である。</p>				

Course Code	5140348	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（金融システム分析）				
Faculties	湯山 智教				
Course Objectives/Overview	<p>金融システムを巡る最近のトピックについて、関連する文献（論文・レポート）やインタビュー等を通じて、その背景や考え方等について理解し、受講者が単独または複数名によるチーム形式で、金融システムに関連した分析テーマについてサーベイし、プレゼンテーションを行い、最終的にはレポート（論文という形式でもよい）を作成することを目的とする。また、受講人数にもよるが、受講者が、単独またはチームで概ね2～3回程度の発表を行うことを想定し</p>				

	<p>ている。なお、後期の同じ担当教員による事例研究（金融資本市場論）を継続して受講する場合には、前後期で同じテーマとしてレポート作成することも可とする（この場合でも、前期末には中間レポートという形でのレポート提出は必要）。</p> <p>具体的な分析テーマとしては、金融システムに関連するものとして、マイナス金利政策、FinTech 等への対応、地域金融システムの在り方、金融監督規制の在り方、国際金融規制等が考えられるが、初回講義で担当教員の提示するテーマ案から選択するのも良いし、受講者自身の関心に応じた金融システムに関するトピックを独自に選び、取りあげても良い。</p> <p>授業では、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や考え方を理解し、一定の分析能力を育成することを目標とする。</p> <p>なお、担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）、日本銀行、民間シンクタンク等における勤務経験を有する行政官・実務経験者であり、授業に際しても、理論のみならず、現実の動きや政策対応・実証分析等をバランスよく取り扱っていきたいと考えている。</p>
--	--

Course Code	5140393	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Quantitative Macroeconomics I)				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	In this course, participants practice quantitative analysis of macroeconomic models using numerical computation.				

Course Code	5140394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Quantitative Macroeconomics II)				
Faculties	楡井 誠				
Course Objectives/Overview	In this course, participants practice quantitative analysis of macroeconomic models using numerical computation.				

Course Code	5140395	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（資本市場と公共政策）				
Faculties	小野 傑／湯山 智教				
Course Objectives/Overview	<p>「金融資本市場における公共政策的・法学的論点と課題」をテーマとする。金融資本市場においては、会社法改正の動きなどを受けたコーポレートガバナンスのあり方、スチュワードシップ・コード改訂を受けた機関投資家のあり方、フィデュシャリー・デューティーの考え方、国際金融規制の影響、ESG 投資の進展などの従来から指摘されている課題や論点に加えて、最近では FinTech に代表されるよ</p>				

	<p>うな新たなプレーヤーによる参入、AI・ビッグデータの活用、仮想通貨の拡大、ICO (Initial Coin Offering) と呼ばれる新たな資金調達手段の可能性の出現などの大きな変革が進んでおり、それぞれの公共政策的・法学的論点と課題は多数に上る。</p> <p>この授業では、これらの金融資本市場における論点と課題について、主として有識者を招いての講義や学生とのディスカッションを通じて、履修生が理解を進め、深く思索する機会を提供するとともに、形式ではなく本質を見据えた解決策を考える力を養うことを目指す。</p> <p>(注) 本講義は、みずほ証券株式会社による寄附講座である。</p>
--	---

Course Code	5140396	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究 (金融資本市場論)				
Faculties	湯山 智教				
Course Objectives/Overview	<p>金融資本市場を巡る最近のトピックについて、関連する文献(論文・レポート)やインタビュー等を通じて、その背景や考え方等について理解し、受講者が単独または複数名によるチーム形式で、金融資本市場に関連した分析テーマについてサーベイし、プレゼンテーションを行い、最終的にはレポート(論文という形式でもよい)を作成することを目的とする。また、受講人数にもよるが、受講者が、単独またはチームで概ね2～3回程度の発表を行うことを想定している。なお、前期の同じ担当教員による事例研究(金融システム分析)と継続して受講する場合には、前後期で同じテーマとしてレポート作成することも可とする(この場合で、前期末には中間レポートという形でのレポート提出が必要)。</p> <p>具体的な分析テーマとしては、金融資本市場に関連するものとして、金融とITを巡る問題(FinTech等)、不公正事案に対する市場監視、資産運用高度化、ESG投資、コーポレートガバナンス・ステewardshipコード等が考えられるが、初回講義で担当教員の提示するテーマ案から選択するのも良いし、受講者自身の関心に応じた金融資本市場に関するトピックを独自に選び、取りあげても良い。</p> <p>授業では、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や考え方を理解し、一定の分析能力を育成することを目標とする。</p> <p>なお、担当教員は、中央官庁(金融庁、財務省)、日本銀行、民間シンクタンク等における勤務経験を有する行政官・実務経験者であり、授業に際しても、理論のみならず、現実の動きや政策対応・実証分析等をバランスよく取り扱っていきたいと考えている。</p>				

Course Code	5140397	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究 (商事信託法の諸問題)				

Faculties	小野 傑
Course Objectives/Overview	<p>2007年9月新信託法およびそれに対応する改正信託業法が施行されました。新信託法のもと、受託資産 1000兆円を越えるまでの規模に発展した商事信託は今後もますます重要性を増すと思われます。また、今日、資産承継・事業承継のため、信託のもつ様々な機能の活用が期待され、一方、新たな公益信託制度が法制審で議論され、さらに、信託法を起源とするフィデューシャリー・デューティーが金融機関の業務運営の根幹とされるなど、信託を巡って新たな展開、拡がりを見せています。</p> <p>そこで、本演習は、商事信託を幅広く捉え、実務に沿った研究を進めることを目的とします。</p> <p>なお、新信託法に関する文献は多数出版されていますが、特に購入する必要はなく、随時資料を配付し、また報告者に対しては、主要な文献を貸与することとします。</p> <p>商事信託について理解を深めることは、金融関連の実務法曹を目指す場合、また金融機関等での活躍を志す学生にとって必須な素養です。</p>

Course Code	5140398	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Macro-Financial Linkages)				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	<p>Become capable of reading theoretical and empirical analyses on macro-financial linkages, which appear strongly in financial crises as well as along a typical path of economic development, at the level often discussed among international policy experts.</p> <ul style="list-style-type: none"> • To build the capacity to understand policy issues on crises. • To be familiar with major theoretical arguments and empirical methods. • To improve policy discussion skills: <ul style="list-style-type: none"> o Presenting (advertising/defending) o Serving as discussant (praising/criticizing) o Open-floor discussions (involving others) 				

Course Code	5140404-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Japan's Asia Pacific Policy I)				
Faculties	TAKEUCHI Haruhisa				
Course Objectives/Overview	<p>The Asia Pacific region is going through rapid structural changes which represent both opportunities and challenges to the region and to the world. The course will review and discuss the contemporary Japanese foreign and security policy toward Asia Pacific.</p> <p>The lecturer is a former diplomat. As appropriate, guest speakers will be invited to discuss current affairs.</p>				

Course Code	5140404-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Japan's Asia Pacific Policy II)				
Faculties	TAKEUCHI Haruhisa				
Course Objectives/Overview	<p>The Asia Pacific region is going through rapid structural changes which represent both opportunities and challenges to the region and to the world.</p> <p>The course will review and discuss the contemporary Japanese foreign policy toward Asia Pacific with focus to such areas as regional integration, economic policy of Japan and its foreign policy implication and soft power.</p> <p>The lecturer is a former diplomat. As appropriate, guest speakers will be invited to discuss current affairs.</p>				

Course Code	5140412	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Financial Institutions)				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide an overview of the theory, history, practices and challenges of international financial institutions (IFIs). In the lectures, IFIs include the International Monetary Fund (IMF), World Bank (and International Finance Corporation [IFC]), Asian Development Bank (ADB), Inter-American Development Bank (IDB), African Development Bank (AfDB), and European Bank for Reconstruction and Development (EBRD) as well as other key IFIs.</p> <p>Guest lecturers from these IFIs will deliver lectures in many cases. At the end of the course, students are expected to fully understand the major functions and challenges of IFIs.</p> <p>Students taking this course for credits must attend all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5140415	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（国際経済ルールの形成と利用）				
Faculties	中川 淳司／米谷 三似				
Course Objectives/Overview	<p>経済活動に対する国際ルールの規律の現状とその底流となる政策論の方向性、国際ルールの形成と実施のための手続の実際、かかる手続における政府、企業、NGO等のステークホルダーの関与等について、個別の事例の検討を通じて考察を深め、同時に今日的な課題にいかに取り組むかについて実践的な議論を行い、実務において直面する問題に対する解決能力を高めることをねらいとする。</p>				

Course Code	5140416	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (FSB's Global Financial Policy-Making)				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				

Course Objectives/Overview	<p>The Financial Stability Board (FSB), which was established in 2009 under the endorsement of the G20 leaders in the aftermath of the Global Financial Crisis, has been playing a central role in the emerging governance framework at the global level in developing and implementing a broad range of financial-sector policy initiatives.</p> <p>This seminar-format course is designed to discuss FSB's history, structure, governance, activities, and policy-making process. This course, will also cover operation and management of international standard setting bodies by referring the FSB as an example. The course will allocate sufficient time to discuss key policy making process with real examples. Guest lecturers from FSB's representatives and stakeholders would provide their experiences during the course. Students taking this course for credits must attend all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>
----------------------------	--

Course Code	5140485	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策環境検討手法としてのシナリオプランニング：理論と実践）				
Faculties	角和 昌浩／杉野 綾子				
Course Objectives/Overview	<p>たいがいのみなさんはいずれ学校の外の世界に出て働き始めます。いざ、職業人生を始めましょう。さて、将来、自身が所属する組織（官であれ民であれ）の内側にあつて、主体的に情報を集め、自分で考えはじめ、直観力と洞察力を持って新しい課題に取り組む、そのような力をつけていただくための一技法としてシナリオプランニングをご紹介したい。</p> <p>シナリオプランニングとは、未来研究手法の一種。シナリオとは、起こり得る未来を説明するストーリーのこと。それは、今後の重要なイベントと主要登場人物達、そして彼らがどんな意図を抱いているかを特定するものであり、また世界がどのような仕組みで動いているかを伝えようとする。われわれはシナリオの作成および活用を通じて、未来に直面するかもしれない困難について探求することが可能となる。われわれは、自身がもっとも不安に思っている未来の不確実性について考えるために、また、それらの不確実な要素が、将来、どのような形で現実に起こるかについて深く掘り下げて考えるために、シナリオプランニングを試みる。</p> <p>この授業はシナリオプランニング技法を、実際にシナリオを作りながら学んでゆく。そのため毎年、あらかじめ実習テーマを設定しテーマにかかわる最新の情報のレクチャーを組み合わせています。イキのよい外部講師が日々登壇するであろう。</p> <p>今年度は、昨年までとは授業の型式を変えます。この授業を受講する方々が年々増えて、それはそれで有難いが、教員としては、個々人の学びを支援することにより、シナリオの技法をちゃんと身に付けてもらいたい。大学院授業では、ゼミ形式／チュートリアルが必要です。従って、受講生は最大10人まで、6－8人で十分です。全回出席をお願いしたいし、グループワークに貢献し、宿題をこなしながら徐々に力をつけてもらいたい。</p>				

	<p>本年度の実習テーマは「中東情勢と日本のエネルギー供給安全」。</p> <p>授業の目標を5つ立てる。すなわち、①シナリオプランニングの理論と型式を理解する。②シナリオプランニング手法が政策環境分析あるいはビジネス環境分析に活用可能なことを理解する。③シナリオプランニングの作業工程を実習する。④ワークショップ・ファシリテーションの技術や、チームワークの作り方を体験的に実習する。⑤チーム作業でシナリオ作品を試作する。</p> <p>特に④、⑤の教授を重視します。受講生には就職活動で忙しい方も出てくる。グループ内で、やむを得ず欠席するメンバーを補いあい、全体として、よき学びを達成していただけたらと願います。</p>
--	---

Course Code	5140486	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Business environment, stakeholders and issues; a learning experience in collaboration with Japanese industry)				
Faculties	KAKUWA Masahiro / KUMON Takashi				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of this course are to give course attendants hands-on experiences of business modus operandi of Japanese companies, and to ask the attendants to follow small scale researches on particular themes on Japanese company/industry. This course was established in 2015 in response to the call from GraSPP international students for more to learn and be exposed to the Japanese business society. Japanese Ministry of Economy, Trade and Industry has also been finding this request as fair and supports this course.</p> <p>The ultimate aim of the course is to offer the attendants an opportunity to learn business culture and operation of globalised, or globalising Japanese companies. Hence, the attendants are very much deserved to be critical and argumentative however; the organizer of the course would like to ask them for due respects to the companies.</p> <p>The organizer of the course has spent 35 years in business both in Japan and abroad however; the attendants will not expect the organizer to do full lectures on theories and methods of business practices, which can be learned by reading boring books for MBA course, plenty of them.</p> <p>This is a very practical course, rare in the university.</p> <p>The attendants will expect hard works!</p>				

Course Code	5140488	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Public-Private Partnerships)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide students with an overview of Public-Private Partnerships (PPPs) as a framework for infrastructure development and public services provision. Thus, the course aims to prepare students for future positions engaged in infrastructure development and public services provision in both the public and private sectors, where financial perspectives are also required. As a practical training course, students will have the opportunity to debate, work in a team, make oral presentation, and produce memos and reports.</p>				

Course Code	5140494	Term	通年	Credits	4
Course Title	事例研究（アメリカ政治外交史演習）				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	近年のアメリカ政治を、リベラル派と保守派の間のイデオロギー的分極化のみならず、エリートと非エリートの対立軸も加えた形で考察する。				

Course Code	5140498	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy)				
Faculties	KAMAE Isao				
Course Objectives/Overview	<ul style="list-style-type: none"> • Students learn basic methods of Health Technology Assessment(HTA) and HTA institutions in the world. • A group of students performs a in-class presentation on the theme assigned in advance, and through the class discussion, all the students learn history,presence and new trends of the HTA agencies/institutions in the world. • Through face-to-face speaking or an internet video conference, short lectures / comments are provided by international HTA experts in the world. • A student can develop his/her capability of HTA specialty in the global perspective. 				

Course Code	5140500	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（海洋問題演習 Va）				
Faculties	木村 伸吾				
Course Objectives/Overview	<p>この授業は、学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養することを目指し、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチについて、具体的課題に即して学ぶことを目的とする実践的な科目である。</p> <p>この授業は、冬学期に開講される海洋問題演習Vbと内容的に一連のものとして設定されるが、それぞれ独立して履修することも可能である。</p> <p>この授業においては、海洋に関わる政策的なトピックについて、場の利用、資源の利用、安全な利用といった観点から、沿岸域総合管理、生物多様性、津波・防災、海洋安全保障等各分野の専門家、実務家等から講義を行う。専門分野の違いを超え、問題解決に必要な知見を総合して、政策案を企画する基礎を学ぶことを目指す。</p> <p>この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである「海洋学際教育プログラム」の必修科目である。</p>				

Course Code	5140501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（海洋問題演習 Vb）				
Faculties	木村 伸吾				
Course Objectives/Overview	<p>この授業は、学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養することを目指し、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチについて、具体的課題に即して学ぶことを目的とする実践的な科目である。</p> <p>この授業は、夏学期に開講される海洋問題演習 Va と内容的に一連のものとして設定されるが、それぞれ独立して履修することも可能である。</p> <p>この授業においては、様々な研究科に所属する大学院生からなるグループを編成し、専門分野の違いを超えて海洋に関わる政策的なトピックについて共同研究を行い、問題解決に必要な知見を総合して政策案の企画に取り組む。</p> <p>この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである「海洋学際教育プログラム」の必修科目である。</p>				

Course Code	5140502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（アメリカの環境・エネルギー政策と政治過程）				
Faculties	久保 文明／杉野 綾子				
Course Objectives/Overview	<p>エネルギー政策は、強力な利益団体が存在する国内政策分野である。近年、環境問題への関心が高まるにつれ、エネルギー・環境問題は、国内政策課題の中でもイデオロギー対立が顕在化する分野の一つとなっている。</p> <p>エネルギー・環境分野にもさまざまな 이슈があるが、その相互の関わりや、利益構造の広がりについて、1990年代以降の事例を取り上げながら分析する。</p>				

Course Code	5140503	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（アメリカ政治におけるメディアの役割）				
Faculties	久保 文明／山脇 岳志				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカ政治においていわゆるマス・メディアが果たす役割について、アメリカ政治の基本を把握しつつ、その歴史、性格、最新の状況について理解することを目標とする。日本との異同についても検討する。インタビューの技術などについても、日米の違いも踏まえつつ、解説し、記事の書き方について実践する。</p>				

Course Code	5140600	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	事例研究（科学技術イノベーション政策研究）
Faculties	松尾 真紀子／五十川 大也
Course Objectives/Overview	<p>[THIS COURSE IS OFFERED IN BOTH JAPANESE AND ENGLISH]</p> <p>科学技術イノベーション政策について、官公庁や調査研究機関等において政策形成やそのために必要なエビデンスの構築に携わる能力、科学技術イノベーション政策を研究する能力を涵養する。</p> <p>具体的には、科学技術イノベーション政策について、政策プロセス・制度またはエビデンス構築を対象に、グループワークを中心とした事例研究を行う。各学生には、個別の専門領域に閉じることなく、横断的な協働を通じて問題解決を図り、政策を企画立案分析する素養の体得を期待する。</p> <p>----</p> <p>This course is designed to develop necessary skills for collecting and assembling evidence for public policy-making at government agencies and research institutions, as well as skills for conducting research on science, technology, and innovation (STI) policy. Students are encouraged to learn across academic disciplines; they are expected to work with other students from different departments/schools toward problem-solving and develop necessary skills for analyzing public issues and planning/evaluating public policy.</p>

Course Code	5140611	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（科学技術と政治・行政 II）				
Faculties	城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術の研究開発、科学技術の実社会の各分野での利用に際して必要になるリスク規制やイノベーションの促進は社会の政治組織、行政組織、企業、社会集団、専門家、市民様々な主体の利益や価値に関わり、これらの課題をめぐっては諸主体間での政治が展開される。科学技術に関する判断は、しばしば科学的技術的に規定されていると認識されることも多いが、実際には多くのトレードオフや不確実性等に関する判断が埋め込まれており、一定の裁量が埋め込まれている。科学技術に関わる政治・行政においては、各主体が科学技術に関する能力をどのように確保するのか、各主体が能力確保に投資するインセンティブ構造が確保されているのかというのも、重要な局面となる。また、現代政治・行政の活動は様々な科学技術的条件の上に成立している。</p> <p>本演習では、まず、このような科学技術と政治・行政における基本的論点について、講義及び文献講読により概観する。具体的には、科学技術自体の性格とダイナミズム、科学技術政策の概念について検討した後、リスク評価・管理や事故調査・インシデント情報共有による学習メカニズム、知識生産や技術の社会導入に関わるイノベーションのメカニズム、科学技術に関する調整メカニズム、国際レベルにおけるリスク規制（安全保障に関するリスクも含む）と国際</p>				

	<p>的な知識生産、技術の社会導入を進めていくための国際協力のメカニズムについて検討する。</p> <p>その上で、情報技術政策、国際保健・生命技術政策、エネルギー・気候変動政策、宇宙政策について、専門家や実務家のレクチャーを踏まえ、具体的に検討する。最終的に、参加者は関心のあるテーマに関してレポートをまとめることが求められる。</p>
--	---

Course Code	5140620	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Diversity and Inclusion)				
Faculty	MAEDA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>We live in interesting times.</p> <p>In the past, it was widely assumed that the members of the nation-state shared a common culture and history. Furthermore, in many countries, there was a sharp division of labor between male breadwinners and female housewives. Under these assumptions, the public sphere was populated by a relatively homogeneous body of citizens. Differences based on gender and ethnic identity were rarely at the center of policy debates.</p> <p>Today, these assumptions can no longer be taken for granted. More and more women are entering the labor force each year, minority ethnic groups are demanding recognition, while immigrants are crossing national borders at an increasing rate. Whatever the long-term trends, this tendency towards diversity and heterogeneity is not likely to be reversed in the near future. As a result, policymakers everywhere are facing new challenges in coping with demands from groups that were hitherto excluded from the political arena.</p> <p>In this course, we will examine various policy issues that involve the problem of identity and difference. In particular, we will pay close attention to how public policies have structured racial, ethnic, and gender relations in contemporary society.</p>				

Course Code	5140700-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Energy Governance)				
Faculty	ARIMA Jun / TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	<p>Explore the roles of the selected energy related international organizations/processes to enhance secure, affordable and sustainable energy supply. The examples of these organs/processes are IEA, OPEC, IEF, Energy Charter, G7, G20, EU, APEC, ASEAN, IAEA IRENA, UNFCCC etc. Discuss the selected energy issues from different perspectives. Try to identify necessary conditions for global energy governance in the 21st Century to address energy and climate challenges</p>				

Course Code	5140700-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Energy Governance)				
Faculty	ARIMA Jun / TANAKA Nobuo				

Course Objectives/Overview	Explore the roles of the selected energy related international organizations/processes to enhance secure, affordable and sustainable energy supply. The examples of these organs/processes are IEA, OPEC, IEF, Energy Charter, G7, G20, EU, APEC, ASEAN, IAEA IRENA, UNFCCC etc. Discuss the selected energy issues from different perspectives. Try to identify necessary conditions for global energy governance in the 21st Century to address energy and climate challenges
----------------------------	---

Course Code	5140715	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（コーポレートガバナンス）				
Faculties	林 良造／中原 裕彦／佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>近年、コーポレートガバナンスが問題となる事例が数多く見られ、また、日本の制度に伴うバイアスについての研究も進んできている。そして、こうした事例に対応する形で、新たなガバナンスの方式が模索・提案されたりもしてきた。</p> <p>この授業では、こうした事例を取り上げ、それはどのような原因・メカニズムで発生するのか、そしてそうした問題は今後どのようにすれば改善することができるのか、コーポレートガバナンス制度の評価という視点から検討を行っていく。</p>				

Course Code	5140723	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Finance and Development in Emerging Asia)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers development issues in emerging Asia with a focus on financing aspects. An underlying question is whether emerging economies in Asia could achieve the fundamental transformation towards a more advanced stage of development. We will discuss policy issues to enhance the finance-development nexus through public policies. Thus, the course aims to prepare students for future positions engaged in finance for development either in the public or private sectors. As a practical training course, students will have the opportunity to debate, work in a team, make oral presentation and produce memos and reports.</p>				

Course Code	5140730-1	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Field Workshop)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will aim to motivate students to seek ways to collaborate with diverse stakeholders in the international fora by offering opportunities to exchange views and discuss with senior officials, management staff and experts in government agencies, international organizations, global business entities, NPOs, and research institutions located in Asia. Planning and participating in discussion sessions with such professionals are expected to help students to identify today's social challenges from global and regional perspectives and to design solutions in line with</p>				

	the concept of the Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM) [http://gsdm.u-tokyo.ac.jp/en/].
--	---

Course Code	5140730-2	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Field Workshop)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	This course will aim to motivate students to seek ways to collaborate with diverse stakeholders in the international fora by offering opportunities to exchange views and discuss with senior officials, management staff and experts in government agencies, international organizations, global business entities, NPOs, and research institutions located in the United States. Planning and participating in discussion sessions with such professionals are expected to help students to identify today's social challenges from global and regional perspectives and to design solutions in line with the concept of the Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM) [http://gsdm.u-tokyo.ac.jp/en/].				

Course Code	5140735	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Case Study (GraSPP Policy Challenge I)				
Faculties	H. SUZUKI				
Course Objectives/Overview	*Details to be announced on web site. GraSPP Policy Challenge (GPC) is an initiative at GraSPP, in which Japanese and international students collaborate and seek to improve their teambuilding and policy-making skills. Participants are tasked with responding to pressing real-world policy challenges as a group, and with designing policies and proposals in response to those challenges.				

Course Code	5140741	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Project Based Learning on the Medical, Environmental and IT Innovation and the Role of Public Policy)				
Faculties	SUZUKI Hiroshi / ISOZUMI Koji / SHIROYAMA Hideaki				
Course Objectives/Overview	This class is the PBL (project base learning exercise) for public policy. Students hear the perspectives and concerns of stakeholders in the fields of medical, environmental and IT innovation and are asked to work collaboratively as a group for the problem definition and identifying and assessing policy alternatives concerning public policies.				

Course Code	5140751	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 III）				
Faculties	鈴木 寛				

Course Objectives/Overview	<p>ソーシャル・イノベーション、社会変革について理解を深める人材政策（教育・雇用）、ソフト政策（スポーツ・文化政策、科学技術政策、医療イノベーション政策、ICT政策、クールジャパン政策、アジア政策）の概要を理解し、実際の政策形成過程を理解する。政府・国会で行われている政策動向の把握の手法を理解し、さらに、政策分析・提案できる実力を身につける。</p>				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5140752	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 IV）				
Faculties	鈴木 寛				
Course Objectives/Overview	<p>ソーシャル・イノベーション、社会変革について理解を深める人材政策（教育・雇用）、ソフト政策（スポーツ・文化政策、科学技術政策、医療イノベーション政策、ICT政策、クールジャパン政策、アジア政策）の概要を理解し、実際の政策形成過程を理解する。政府・国会で行われている政策動向の把握の手法を理解し、さらに、政策分析・提案できる実力を身につける。</p>				

Course Code	5140771	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Current Global Economic Issues)				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	<p>Become capable of reading theoretical and empirical analyses on current global economic issues at the level often discussed among international policy experts.</p> <ul style="list-style-type: none"> • To build the capacity to understand policy issues on current macroeconomic and financial issues in the world. • To be familiar with major theoretical arguments and empirical methods. • To improve policy discussion skills: <ul style="list-style-type: none"> o Presenting (advertising/defending) o Serving as discussant (praising/criticizing) o Open-floor discussions (involving others) 				

Course Code	5140790	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Empirical Development Microeconomics I)				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course (CS1) is to develop 1) knowledge and skills to read and criticize research papers in the literature of development microeconomics; 2) skills to develop a research project on development (which is broadly defined); 3) presentation and discussion skills; and 4) academic writing skills.</p>				

Course Code	5140791	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Case Study (Empirical Development Microeconomics II)
Faculties	TAKASAKI Yoshito
Course Objectives/Overview	The objective of this course (CS2) is to 1) acquire skills to develop a research project on development (which is broadly defined); 2) develop skills to analyze micro data (e.g., individual, household, community, firm, etc.); and 3) develop presentation, discussion, and academic writing skills.

リサーチペーパー

Research Paper

研究論文

Thesis

Course Code	5150010	Term	通年	Credits	2
Course Title	リサーチペーパー				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>特定の課題について、文献、インタビュー、その他の調査を行い、その検討結果をまとめ、リサーチペーパーとして作成する。これを通じて、学生が特定の政策課題について調査し、問題を分析する力を養うとともに、これをペーパーとしてまとめ、表現する能力をつける。課題に応じて指導教員は、ペーパー作成に必要な助言を行う。提出されたペーパーについて審査委員による口述試験を通過して所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p> <p>You are to write a Research Paper on a specific topic based on your research findings through literature review, interviews or other researches. The Research Paper is meant to nurture both your analytical and presentation skills. The academic advisor will give advice relating to the topic of your research paper. The Research Paper submitted will be assessed by a panel of judges through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p>				

Course Code	5150011	Term	年度跨り	Credits	2
Course Title	Research Paper				
Faculties	Each Academic Advisor 各教員				
Course Objectives/Overview	<p>You are to write a Research Paper on a specific topic based on your research findings through literature review, interviews or other researches. The Research Paper is meant to nurture both your analytical and presentation skills. The academic advisor will give advice relating to the topic of your research paper. The Research Paper submitted will be assessed by a panel of judges through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p> <p>特定の課題について、文献、インタビュー、その他の調査を行い、その検討結果をまとめ、リサーチペーパーとして作成する。これを通じて、学生が特定の政策課題について調査し、問題を分析する力を養うとともに、これをペーパーとしてまとめ、表現する能力をつける。課題に応じて指導教員は、ペーパー作成に必要な助言を行う。提出されたペーパーについて審査委員による口述試験を通過して所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p>				

Course Code	5150020	Term	通年	Credits	6
Course Title	研究論文				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>選定した特定の研究課題について、文献調査、インタビュー、資料分析、その他の綿密な調査と分析を行い、それに基づく研究成果をまとめ、これを研究論文として作成する。研究課題に応じて指導教員は、研究課題の確定及び課題に関する研究計画の策定等について助言を与え、研究方法や参考文献の指示、その他の助言等を行うことによって、学生の研究論文の作成を支援する。提出された研究論文に対して口述試験を行い、これを通過することによって所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p> <p>You are to write the Thesis on a selected specific topic based on your research findings through literature review, interviews, data analysis or other detailed research and analysis. The academic advisor will give advice on your research topic and research plan, supervise on research methods and academic references, as well as give other advices to assist student in the writing of the Thesis. The Thesis submitted will be assessed through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p>				

Course Code	5150021	Term	年度跨り	Credits	6
Course Title	Thesis				
Faculties	Each Academic Advisor 各教員				
Course Objectives/Overview	<p>You are to write the Thesis on a selected specific topic based on your research findings through literature review, interviews, data analysis or other detailed research and analysis. The academic advisor will give advice on your research topic and research plan, supervise on research methods and academic references, as well as give other advices to assist student in the writing of the Thesis. The Thesis submitted will be assessed through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p> <p>選定した特定の研究課題について、文献調査、インタビュー、資料分析、その他の綿密な調査と分析を行い、それに基づく研究成果をまとめ、これを研究論文として作成する。研究課題に応じて指導教員は、研究課題の確定及び課題に関する研究計画の策定等について助言を与え、研究方法や参考文献の指示、その他の助言等を行うことによって、学生の研究論文の作成を支援する。提出された研究論文に対して口述試験を行い、これを通過することによって所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p>				

